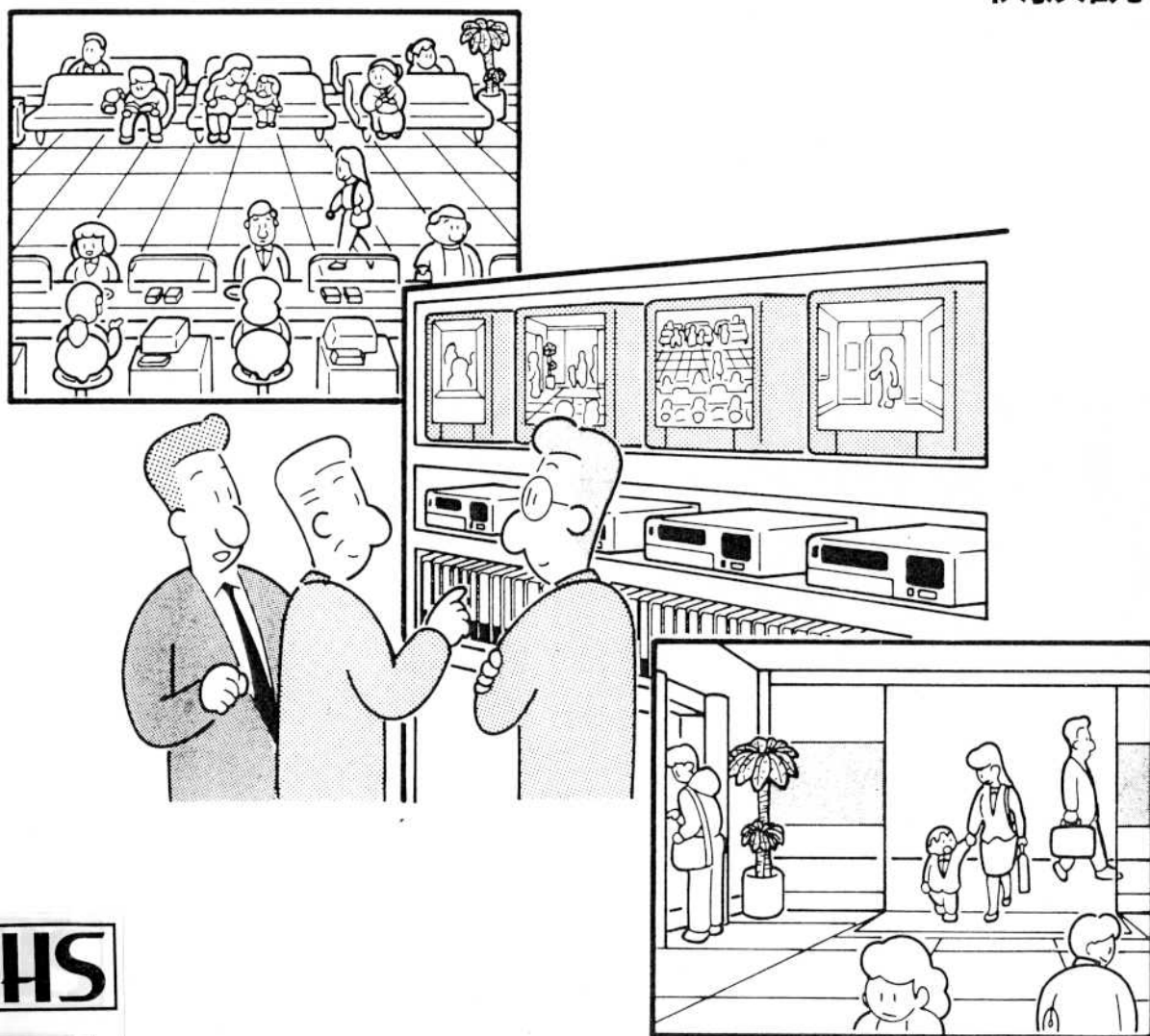


# Panasonic

## タイムラプスビデオ

### 品番AG-6740

#### 取扱説明書



**S VHS**

保証書別添

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店よりお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

- 本機は、当社タイムラプスビデオのNV-8050、AG-6050とは互換性がありません。
- 本機はS-VHS方式ビデオです。S-VHS マーク、VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

# 定 格

一 般		電 源：AC100V 50/60Hz 消費電力：25W	■ は安全項目です。
	許容周囲温度	5°C～40°C	
	許容相対湿度	35%～80%	
	外形寸法	380(幅)×112(高さ)×340(奥行き)mm	
	重量	約7.5kg	
	録画再生方式	回転4ヘッドヘルキヤルスキャン アジマス記録方式 VHS/S-VHS規格	
	テープ速度	3.335cm/sec(2時間モード)	
	使用テープ	S-VHS/VHS規格テープ	
	録画時間モード	2/6/L12/L18/L24/24/48/72/96/120/180/240/480時間、1コマ録画モード HDR：24/48/72/96/120/180/240/480/960時間、1コマ録画モード	
	早送り/巻戻し時間	3分以内(120分テープ使用時)	
	映 像	テレビジョン方式	NTSC方式 525本 60フィールド
変調方式		輝度信号：周波数変調方式 色信号：低域変換 $\pi/2$ 移相	
S映像入力(4P)		輝度信号：1.0Vp-p、75 $\Omega$ 不平衡 色信号：0.286Vp-p(バースト)、75 $\Omega$ 不平衡	
ライン入力(BNC)		1.0Vp-p、75 $\Omega$ 不平衡	
S映像出力(4P)		輝度信号：1.0Vp-p 75 $\Omega$ 、不平衡 色信号：0.286Vp-p(バースト)、75 $\Omega$ 不平衡	
ライン出力(BNC)		1.0Vp-p、75 $\Omega$ 不平衡	
水平解像度		白黒モード：300本以上(VHSモード) 400本以上(S-VHSモード) カラーモード：240本以上(VHSモード) 400本以上(S-VHSモード)	
S/N	白黒モード：46dB(2時間モード/S-VHS) カラーモード：46dB(2時間モード/S-VHS)		
音 声	ライン入力(ピンジャック)	-10dBV、入力インピーダンス47K $\Omega$ 不平衡	
	マイク入力(M3)	-60dBV、適合マイク600 $\Omega$ ～4.7K $\Omega$ 不平衡	
	ライン出力(ピンジャック)	-8dBV、出力インピーダンス600 $\Omega$ 不平衡	
	トラック数	1トラック(NORM)	
	記録再生モード	2H、L12H、L18H、L24Hモード	
付属品	電源ケーブル	1本	

# 修理作業安全上のご注意

必ずお守りください

修理作業時の事故防止と、作業後の製品の安全確保のために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視したときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



**警告**

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生される可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

(下記は、図記号の一例です。)



このような図記号は、気をつけていただく「注意喚起」内容です。



このような図記号は、してはいけない「禁止」内容です。



このような図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。



**警告**

感電にご注意ください。



感電注意

- コンセントをさしたまま一次側活電部(充電部)に触れると、感電します。点検する場合は、直接触れないよう十分注意してください。
  - 部品交換は、必ずコンセントを抜いてから行ってください。
  - ブラウン管を使用したものでは、高圧部分がありますので直接触れないでください。またブラウン管のアノード端子には、電源を切っても残留電荷により触れると電撃を受けることがありますので十分ご注意ください。
- ☞ やけどや感電につながります。

指定部品をご使用ください。



- 部品は、難燃性や耐電圧など安全上の特性を持ったものとなっていますので、交換部品は、使用されているものと同じ特性の部品をご使用ください。
  - 特に回路図、部品表の △ 印の部品は、安全部品です。交換するときは、安全および性能維持のため必ず指定の部品をご使用ください。
- ☞ ショートや発熱により感電や火災につながります。

部品の取り付けや配線の引き回しはもとどおりにしてください。



- 安全上チューブや絶縁材料を使用したり、プリント基板から浮かして取り付けられた部品がありますので、もとどおりに取り付けてください。
  - 内部配線は、引き回しやクランプによって発熱部品や高圧部品に接近させないように配慮していますのでもとどおりにしてください。
- ☞ ショートや発熱により感電や火災につながります。

## 警告

指定電圧以外の電源電圧は加えないでください。



禁止

☞ 定格電圧以外の電源電圧を加えると絶縁破壊や過電流により感電や火災につながります。

後面にACアウトレットがある場合、表示以上の機器は接続しないでください。



禁止

☞ 過電流による発熱や火災につながります。

改造はしないでください。



禁止

☞ 感電や発熱による火災につながります。

ブラウン管使用機器の高圧回路周辺の改造は絶対行わないでください。



禁止

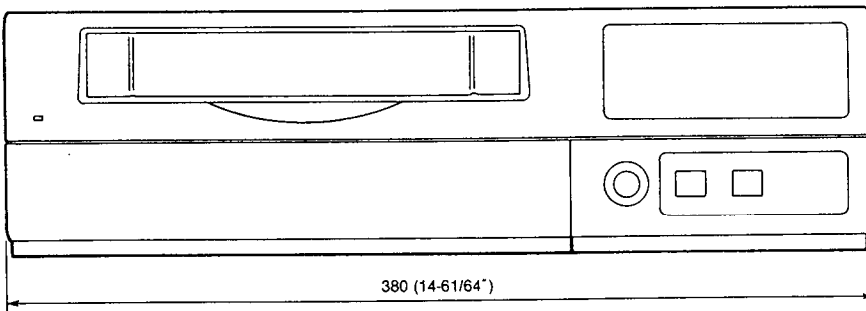
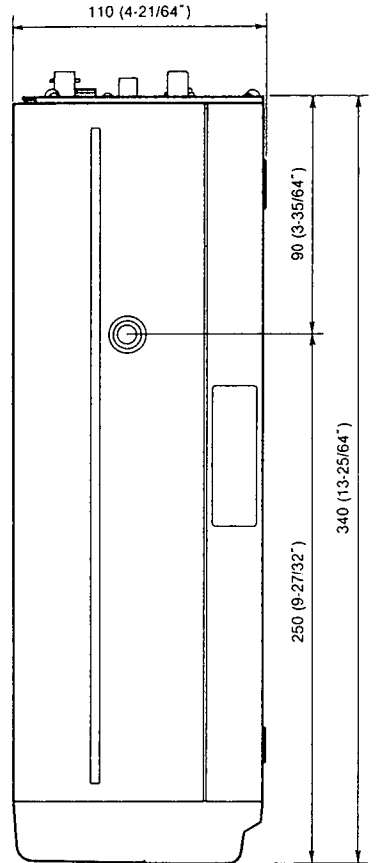
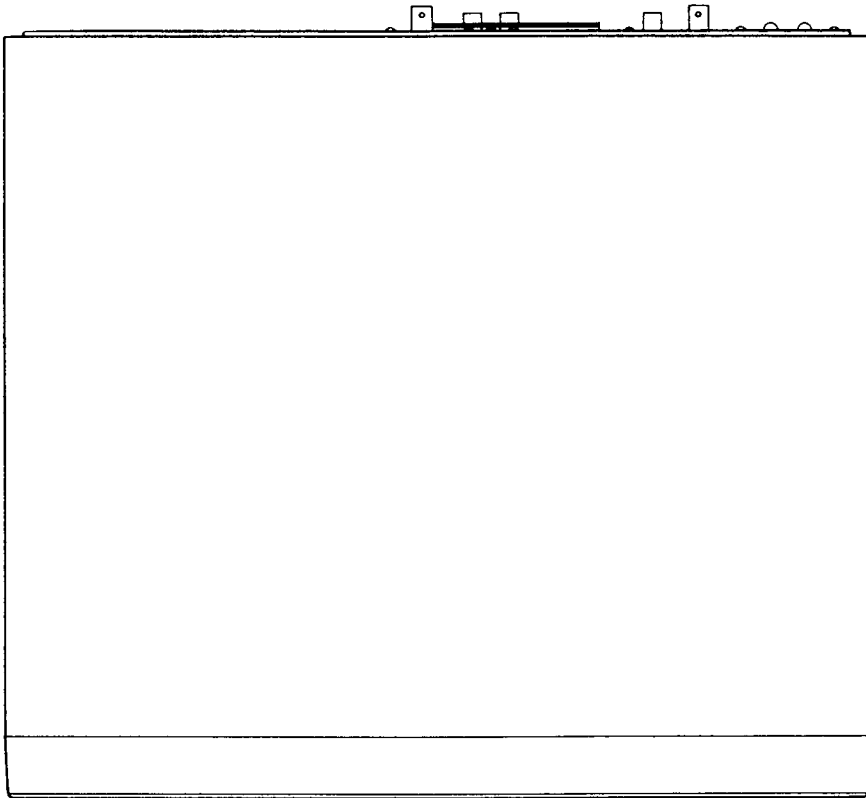
☞ 高圧が上昇しX線が発生することがあります。

サービス後は、安全点検を励行してください。



- 電源プラグの接触不良や、端子間にゴミや導電物の付着がないことを確認ください。また、電源コードにキズがあるものは、テーピング補修などはしないで、指定部品と交換してください。
- はずしたネジ、部品、配線がもとどおりになっているか、またサービスした箇所の周辺を劣化させたところがないか点検してください。
- 一次側活電部（充電部）部品の端子やはんだ付け部と周辺の金属部分との空間距離は3mm以上確保されていることを確認してください。
- AC100V仕様の機器については、アンテナ端子やその他外部金属部と電源プラグ間の絶縁チェックを行い、安全性が確保されていることを確認してください。（絶縁チェックの方法）
  - ① コンセントから電源プラグを抜き、機器の電源プラグの両端（両刃）をショートしてください。
  - ② アンテナや外部機器との接続をすべてはずし、電源スイッチを入れます。
  - ③ 500V 絶縁抵抗計を用いて、電源プラグの端子と外部露出の金属部とのあいだの絶縁抵抗が1MΩ以上あることを確認してください。  
やむをえず絶縁抵抗計が手元にないときは、テスター等を用いて点検してください。
  - ④ 絶縁抵抗が1MΩ以下のときは、交換部品が正しくついているか、また部品どうしの接触や正しいはんだ付け処理ができていないか等を再度点検してください。  
☞ 絶縁劣化による感電や火災につながります。

★ 寸法図



Unit: mm (inch)

# SECTION 1

## 取扱説明

### 目次

操作ボタンの名称 .....	1-2
表示管の説明 .....	1-3
操作マップ .....	1-4
最初にこれだけの操作を！ .....	1-5
録画 .....	1-7
アラーム録画 .....	1-8
内部タイマー録画 .....	1-10
外部タイマー録画 .....	1-12
再生 .....	1-13
サーチ操作 .....	1-14
日付・時刻合わせ .....	1-15
操作上のお願い .....	1-16
メニュー画面とは .....	1-17
メニュー画面 .....	1-18
シリーズ録画 .....	1-26
1コマ録画 .....	1-27
自動時刻合わせ .....	1-29
その他の機能 .....	1-30
機器の接続 .....	1-31
ターミナルの接続 .....	1-32
ターミナルの信号レベル .....	1-34
露付き(d表示) .....	1-35
エラー表示 .....	1-35
日常点検！定期点検 .....	1-36
別売品について .....	1-37
高密度記録 (HDR) について .....	1-38

# 操作ボタンの 名称

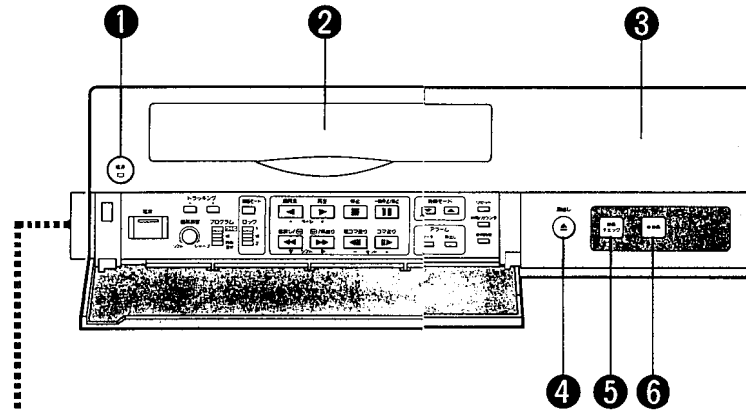
## 前面部

- ① 電源ランプ  
電源を入れると点灯します。
- ② カセット挿入口 (→18ページ)
- ③ 表示管 (→14ページ)
- ④ カセット取り出しボタン (→18ページ)
- ⑤ 録画チェックボタン (→20ページ)  
録画中に押すと録画内容を確認できます。
- ⑥ 録画ボタン (→22ページ)

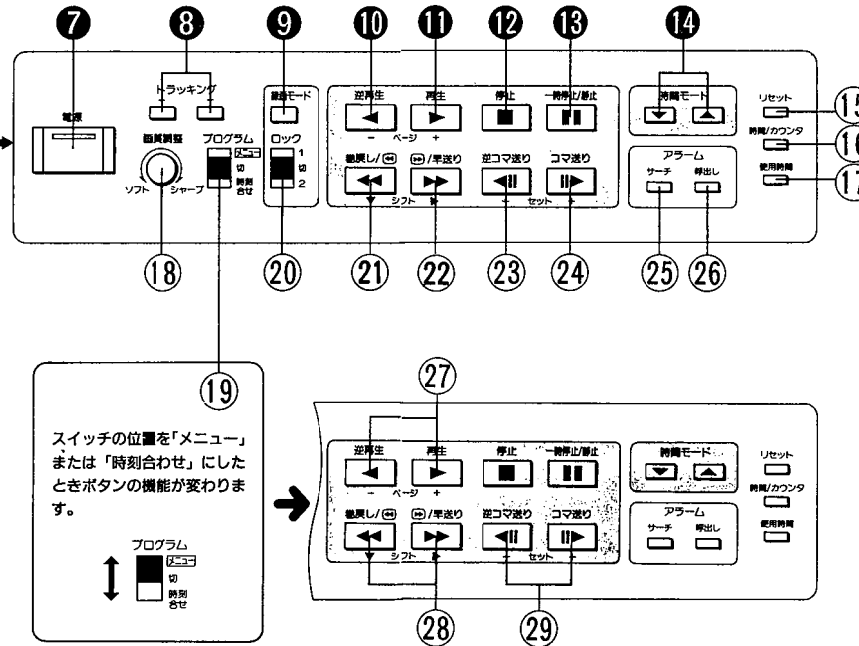
## サブパネル部

- ⑦ 電源ボタン
- ⑧ トラッキング調整ボタン (→35ページ)  
トラッキングを調整します。
- ⑨ 録画モードボタン (→21ページ)  
録画モードを選択します。
- ⑩ 逆再生ボタン (→34ページ)
- ⑪ 再生ボタン (→34ページ)
- ⑫ 停止ボタン (→18ページ)
- ⑬ 一時停止/静止ボタン (→19ページ)  
録画の一時停止や静止面再生に使用します。
- ⑭ 時間モードボタン (→21ページ)  
時間モードを選択します。

## 前面部



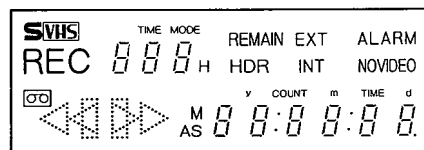
## サブパネル 拡大図




## サブパネル部


- ⑮ リセットボタン (→21、27、48ページ)  
データのリセットに使用します。
- ⑯ 時間/カウンタ表示切り換えボタン (→21ページ)  
時刻表示とテープカウンタの表示を切り換えます。
- ⑰ 使用時間モード (→85ページ)  
押すと、総使用時間 (シリンダー回転時間) が表示されます。
- ⑱ 画質調整つまみ (→35ページ)  
再生画質を調整します。
- ⑲ プログラムスイッチ (→20, 38, 43ページ)  
メニュー表示、時刻合わせを行うとき使用します。
- ㉑ 録画ロックスイッチ (→21ページ)  
録画ロックモードを設定します。
- ㉒ 巻戻しボタン (→18, 36ページ)
- ㉓ 早送りボタン (→19, 36ページ)
- ㉔ 逆コマ送りボタン (→19ページ)
- ㉕ コマ送りボタン (→19ページ)
- ㉖ アラームサーチボタン (→37ページ)  
アラームサーチ機能を設定します。
- ㉗ アラーム呼出しボタン (→27ページ)  
アラームメモリアデータをモニタ画面に表示させます。
- ㉘ ページボタン (→43ページ)  
メニュー画面のページアップ、ダウンに使用します。
- ㉙ シフトボタン (→43ページ)  
項目の選択に使用します。
- ㉚ セットボタン (→43ページ)  
設定項目の内容選択に使用します。


# 表示管の説明





前面パネルにある大型表示管に本機の各種情報が表示されます。


- 


S-VHSモードで再生・録画時に表示します。
- 


録画中に点灯します。
- 


時間モードを表示します。
- 


録画モードを表示します。  
 無表示 : 通常モード  
 EXT : 外部タイマー録画モード  
 INT : 内部タイマー録画モード(選択すると電源が切りの状態になります。)
- 

アラーム録画モードが設定されると表示します。  
 メニュー画面4の“MODE”を“OFF”以外にすると表示します。(→50ページ)
- 

カセットマークです。  
 カセットが挿入されると表示します。  
 録画チェック後、エラーがあると点滅します。(→81ページ)
- 

ビデオの動作モードを表示します。  
 ▷または◁ = 再生  
 < = 逆再生  
 REC ▷ = 録画、録画確認  
 REC ◻◻ = 録画一時停止  
 ◻◻ = 静止画、コマ送り  
 ▷▷ = 早送り、早送り再生  
 ◁◁ = 巻戻し、巻戻し再生
- 

アラームサーチモードのとき表示します。  
 (→37ページ)
- 

時刻・テープカウンタ値を表示します。
- 

エラー発生時にはエラーコードを表示します。  
 (→81ページ)



入力映像信号がない時に、点滅します。

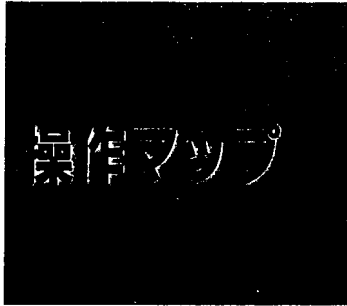


メニュー画面5の“BUZZER”を“ON”にすると録画モードでテープ終端付近に近づいた時、点滅します。

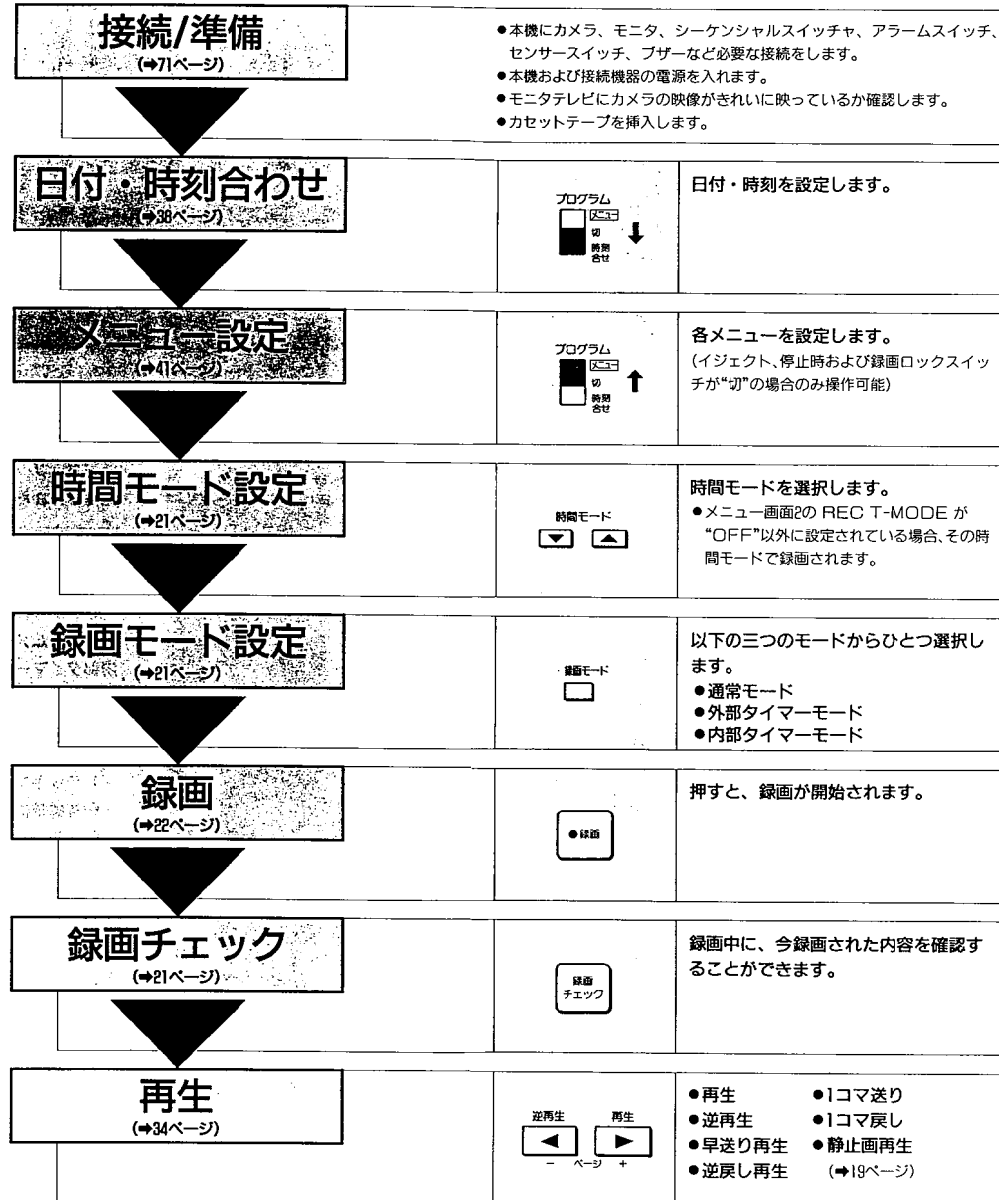


高密度記録が設定されていると表示します。





本機の接続から再生までの操作の流れを説明しています。



**メニュー画面**

```

([O]PLAY)
MODE          5
CHARACTER    1
POSITION     1 UPPER
TIME SELECT  24HOURS
DATE         00
TIME         00
T-MODE       ON
(REQ 2)HAYE)
NOT REC      CAMERA
                    
```

メニュー画面1

- ・画面表示の設定

```

(VTR-MODE SELECT 1)
(HIGH DENSITY REC)
MODE          OFF
(REQ 1-MODE)  OFF
(STAPE IN)    STOP
(STAPE END)   STOP
ALARM IN     STOP
(EJECT OPERATION)
MODE         EJECT
(AC OUT LET) LINK
                    
```

メニュー画面2

- ・VTRモードの設定1

```

(VTR-MODE SELECT 2)
(POWER LOSS MEMORY)
#E #E-##-## #E:##
(VIDEO)
MODE          AUTO
IN            LINE
S-VHS REC   ON
(TIME ADJUSTING)
SET TIME     9:00
OPERATION    #LAVE
                    
```

メニュー画面3

- ・VTRモードの設定2

```

(ALARM/SENSOR REC)
MODE          OFF
DURATION     0.5MIN
BUZZER       OFF
REPEAT IN    OFF
(RESET PULSE)
INPUT LEVEL  HIGH
(CAMERA SW)  TIMING
MODE         1FIELD
            2#2
                    
```

メニュー画面4

- ・アラーム録画モードの設定

```

(1-SHOT REC)
FIELD        1
INTERVAL     3MIN
(TAPE REMAIN)
BUZZER       OFF
(REQ REVIEW)
AUTO         OFF
ERR BUZZER   OFF
(ERR WARN SUZ)OFF
                    
```

メニュー画面5

- ・1コマ録画モードの設定
- ・テープ残量警告プザーの設定
- ・録画レビューの設定
- ・エラー表示警告プザーの設定

```

(INTERNAL TIMER REC)
(TIMER)START END T-M
SUN OFF
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
                    
```

メニュー画面6

- ・内部タイマー録画モード設定

```

(RS-232C PARAMETER)
BIT LENGTH  7BIT
STOP BIT    STOP-1
PARITY      ODD
BAUD RATE   4800
                    
```

メニュー画面7

- ・RS-232Cパラメータの設定

```

(TIME CODE)
MODE         REGEN
VTRC REC    ON
POSITION    11H.13H
TD PRESET  00:00:00
UB PRESET  00:00:00
                    
```

メニュー画面8

- ・タイムコードの設定

(メニュー画面1へ戻る)

●別売品のインターフェースボードを装置すると以下の画面も表示されます。

(メニュー画面7へ移る)

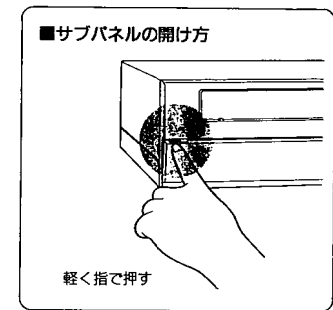
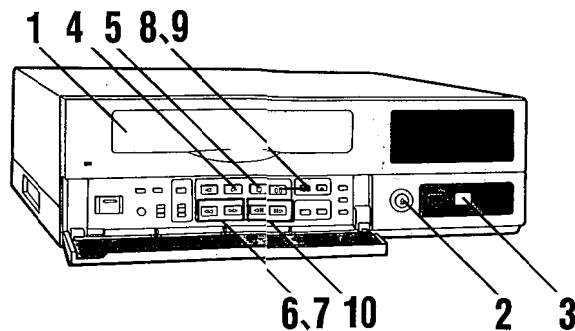
(メニュー画面1へ戻る)

1-4

16

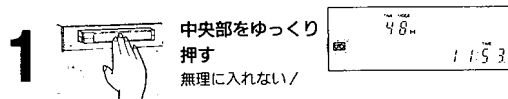
17

最初に  
これだけの  
操作を！

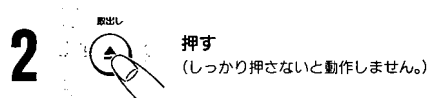


本機をご使用になるとき、最初にこれだけの操作だけは覚えておきましょう。

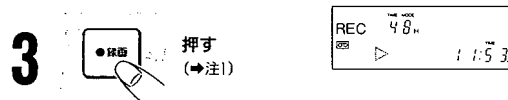
■カセットの入れかた



■カセットの取り出し方



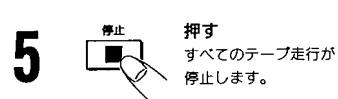
■録画のしかた



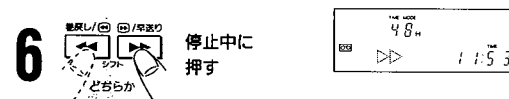
■再生のしかた



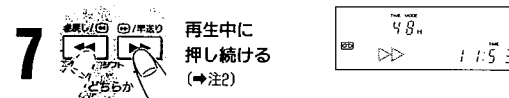
■停止のしかた



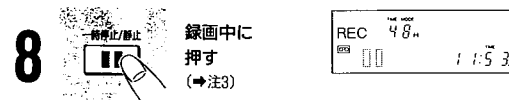
■早送り/巻戻しのしかた



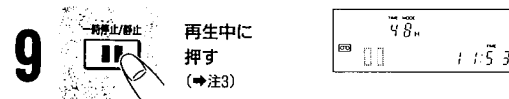
■早送り/巻戻し再生のしかた



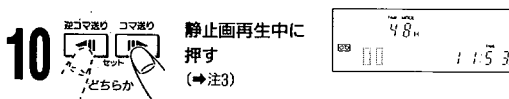
■録画の一時停止のしかた



■静止画再生のしかた



■コマ送り再生のしかた



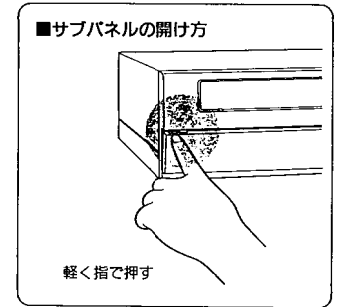
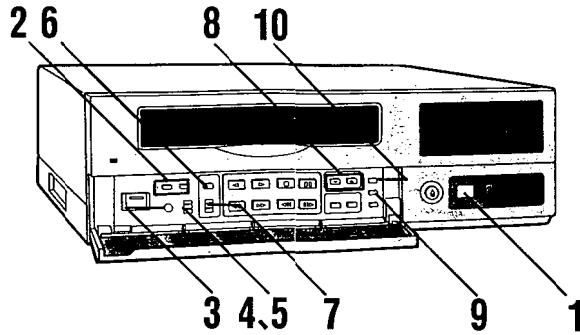
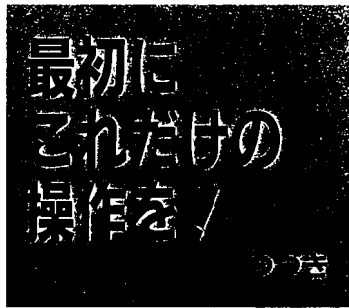
ノート

(注1)  
カセットの誤消去防止つめが折れていると、カセットが出てきます。  
(→40ページ)

(注2)  
アラームサーチモードにすると、早送り/巻戻し再生を、一度ボタンを押すだけで、動作を継続させることができます。  
(→36ページ)

(注3)  
一時停止、静止画再生状態は、テープ保護のため、一定時間がすぎると停止モードになります。

(オートヘッドクリーナ機能について)  
停止状態から録画・再生を開始したときや、録画・再生状態から停止状態に移行したとき、自動的にビデオヘッドの汚れを取り除きますのできれいな画像が得られます。  
ただし、長期間ビデオを使用すると、ビデオヘッドが汚れてくることがあります。  
そのときは、ヘッドクリーニングの必要があります。  
ヘッドクリーニングには、別売のヘッドそうじ用カセットNV-TCLP (非研磨性) をおすすめします。



1-6

■録画確認のしかた

**1** 録画中に押す (→注1)

■トラッキング調整のしかた

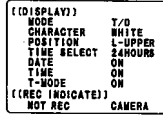
**2** 再生中にまず同時に押す。それでも調整できない場合は、+または-ボタンを単独で押す (→35ページ)

■画質調整のしかた

**3** (再生中に) 回す (→35ページ)

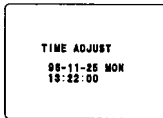
■メニュー画面の出ししかた

**4** 停止/イジェクト時、“メニュー”にする。録画ロックスイッチが設定されているとメニュー画面は表示されません。



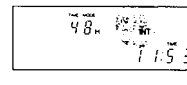
■時刻合わせ表示の出ししかた

**5** 停止/イジェクト時、“時刻合わせ”にする。録画中に設定すると、時刻合わせ画面が録画されます。



■録画モードの選択

**6** 録画前に押して選択する (→注2)

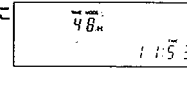


■録画ロックのかけかた

**7** 録画中に“1”または“2”にする (→注3)

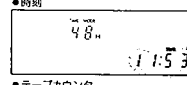
■時間モードの選択

**8** 録画、再生前(中)に押して選択する (→注4)

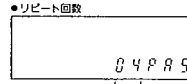
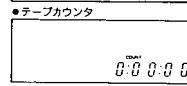


■時刻・テープカウンタ・リピート回数の表示切り換え

**9** 押すことに切り換わる

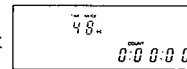


●リピート回数はメニュー画面2のTAPE ENDモードを“REPEAT”に設定している場合、回数を表示します。カセットテープを交換すると“1”になります。カセットテープの交換の目安は60ページの表を参照してください。



■テープカウンタのリセット

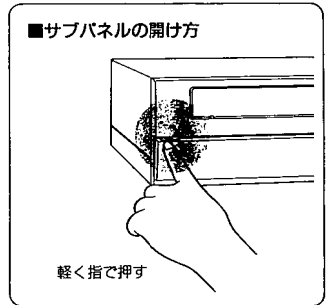
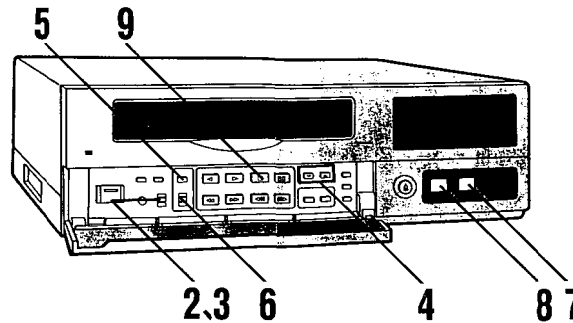
**10** カウンタ表示中に押す



ノート

- (注1) 録画中、録画チェックボタンを押した寸前の画像を一部再生し、再度録画モードに戻ります。(再生画像が見れるまで3秒程かかります。)
- 録画チェック動作後、ヘッド汚れ、テープ劣化により適正なビデオレベルが得られなかった場合、表示管のカセットマーク ( ) が点滅します。(→81ページ)
- ・録画開始ごとに、録画チェックを自動的に行う機能を設定することもできます。(→52ページ)
- (注2) 録画モードは、ボタンを押すごとに外部タイマー→内部タイマー→無表示に変わります。内部タイマーにすると、電源が切り状態になります。(→31ページ)
- (注3) 録画ロックをかけると、録画開始後、通常の操作が行えなくなります。
- 1: 録画チェックのみ可能
  - 切: 通常操作可能
  - 2: 録画チェック、イジェクトのみ可能
- (ただし、使用時間ボタンは常に操作可能です。)
- (注4) 時間モードは以下のとおりです。
- 2Hモード : 標準モード
  - 6Hモード : 3倍速モード
  - L12~L24Hモード : リニアスローモード
  - 24~960Hモード : タイムラプスモード
  - 000Hモード : 1コマ録画モード
  - HDR : 高密度記録モード
- 録画時間モードについては、46、60ページを参照。

録画



録画の開始から終了までの操作を説明しています。

- 1** ■接続、接続機種種の準備を完了させる (→71ページ)  
 ■電源を入れる  
 ■つめの折れていないカセットを入れる (→40ページ)  
 (→注1)

**2** ↓ プログラム 日付・時刻を合わせる (→38ページ)  
 (→注2,3)

**3** ↑ プログラム メニュー設定をする (→41ページ)  
 (→注3)

**4** 時間モード 押して、時間モードを設定する (→注4)

**5** 録画モード 押して、録画モードを設定する (→注5)

**6** ↑ ロック 録画ロックを設定する場合は“1”または“2”にする

**7** 録画 押すと、録画が開始する

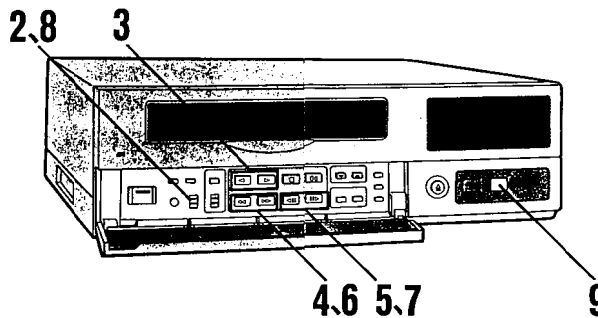
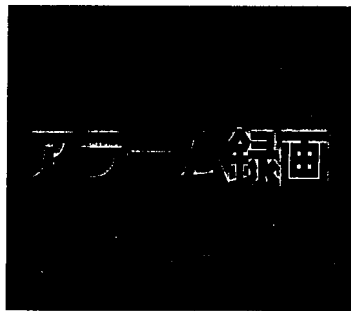
**8** 録画 チェック 録画中に、押すと録画チェックできる

**9** 停止 押すと、停止する (→注6)

■推奨テープ  
 本機は監視・保安・観察など高信頼性を要求される商品として設計されています。録画の信頼性を確保するため以下のパナソニックビデオテープの使用をお勧めします。  
 VHSテープ：NV-T90, T60, T90, T120シリーズ  
 S-VHSテープ：NV-ST60, ST90, ST120シリーズ

ノート

- (注1) メニュー画面2で自動録画機能の設定ができます。(→46ページ)
- (注2) メニュー画面3で自動時刻合わせ機能を設定できます。(→49, 70ページ)
- (注3) 時刻合わせ、メニュー設定の終了後は、必ずプログラムスイッチを“切”に戻します。
- (注4) 時間モードの設定は、メニュー画面2の“REC T-MODE”が“OFF”以外の場合、録画開始すると、“REC T-MODE”で設定した時間モードになります。(→46ページ)
- (注5)  
 INT : 内部タイマー録画モード  
 EXT : 外部タイマー録画モード  
 無表示 : 通常モード  
 内部タイマー録画モードを選択すると、電源が切りの状態になります。(→31ページ)
- (注6) 録画ロックスイッチが“切”以外の位置に設定されている場合は、“切”に戻してから停止ボタンを押してください。



(メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン: ページダウン
- ページ (+) ボタン: ページアップ
- シフト (▼) ボタン: 項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン: 項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン: 項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン: 項目変更 (数値増加)

アラーム録画とは、タイムラプス録画時にアラーム入力があると、時間モードが鮮明に録画できる時間モードに変わり、異常事態を克明に録画するためのものです。

**1** 22ページの1~4の操作を完了させます。

**2** プログラム切替合せ “メニューにする”

[(DISPLAY)]  
MODE T/D  
CHARACTER WHITE  
POSITION L-UPPER  
TIME SELECT 24HOURS  
DATE ON  
TIME ON  
T-MODE ON  
[(REG INDICATE)]  
NOT REC CAMERA

**3** 押し、メニュー画面4を表示させる

[(ALARM/SENSOR REC)]  
MODE OFF  
DURATION 0.5MIN  
BUZZER OFF  
REPEAT IN (RESET PULSE) HIGH  
INPUT LEVEL HIGH  
(CAMERA SW) 1FIELD  
TIMING 1FIELD  
MODE TM2

**4** 1回押す

[(ALARM/SENSOR REC)]  
MODE OFF  
DURATION 0.5MIN  
BUZZER OFF  
REPEAT IN (RESET PULSE) HIGH  
INPUT LEVEL HIGH  
(CAMERA SW) 1FIELD  
TIMING 1FIELD  
MODE TM2

**5** 押し、アラーム録画時の録画時間モードを選択する (注1)

[(ALARM/SENSOR REC)]  
MODE 2H  
DURATION 0.5MIN  
BUZZER OFF  
REPEAT IN (RESET PULSE) HIGH  
INPUT LEVEL HIGH  
(CAMERA SW) 1FIELD  
TIMING 1FIELD  
MODE TM2

**6** 1回押す

[(ALARM/SENSOR REC)]  
MODE 2H  
DURATION 0.5MIN  
BUZZER OFF  
REPEAT IN (RESET PULSE) HIGH  
INPUT LEVEL HIGH  
(CAMERA SW) 1FIELD  
TIMING 1FIELD  
MODE TM2

**7** 押し、録画間隔を選択する (注2)

[(ALARM/SENSOR REC)]  
MODE 2H  
DURATION 8.0MIN  
BUZZER OFF  
REPEAT IN (RESET PULSE) HIGH  
INPUT LEVEL HIGH  
(CAMERA SW) 1FIELD  
TIMING 1FIELD  
MODE TM2

**8** “切”にする (注3)

通常画面

**9** 押し

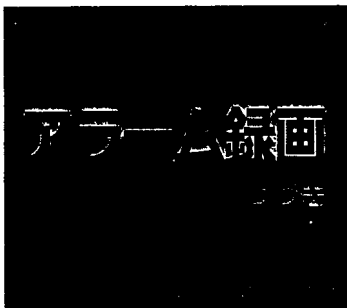
REC 48 ALARM  
1153

**10** 録画が開始されます。  
録画のしかたについては、22ページを参照ください。

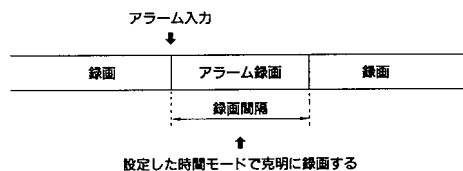
↓(操作続く)

ノート

- (注1)  
・アラーム録画を行わない場合は、“OFF”に設定します。  
・“MODE”を“OFF”以外に設定すると、表示管に“ALARM”が表示されます。  
・録画時間の設定は以下のとおりです。  
2.6, L12, L18, L24, 24時間, NO CHANGE (時間モードの変更なし)  
(⇒50ページ)
- (注2)  
録画間隔とは、アラーム録画を行う時間です。  
(⇒50ページ)
- (注3)  
メニュー画面での設定は、プログラムスイッチを“切”にした時点で確定されます。
- (その他)  
メニュー画面4では、ここでの設定以外に  
・アラーム録画時のブザーON/OFF  
・リピートイン機能の設定  
・アラームリセットパルスのレベル選択  
・カメラ切り換えタイミング  
などの設定もできます。  
(⇒50ページ)



## 11 アラーム入力があると、アラーム録画モードになる



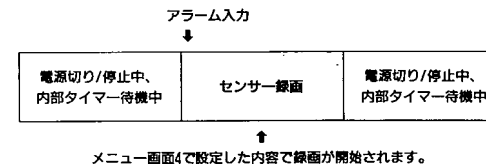
一度アラーム録画が行われると、表示管に“アラーム”が点滅します。停止ボタンを押すと表示は消灯します。

## センサー(エマージェンシ)録画モードについて

■電源が切れている状態、停止している状態でもアラーム入力があるとすぐに、センサー(エマージェンシ)録画が開始されます。

■センサー録画モードとアラーム録画モードの内容は同じです。

■メニュー画面4の“MODE”が“OFF”に設定されているとセンサー録画は働きません。



## アラームメモリリコール機能について

アラーム録画が働いた日時、回数を記憶する機能です。

サブパネル右側



押すと、  
アラームリストが  
表示される

■過去8回までのデータを記憶します。

■アラーム回数のメモリは99回までで、それ以上は00に戻ります。

■アラームリコール画面が表示中に、リセットボタンを押すと、メモリをクリアすることができます。

■表示は30秒たつと自動的に消えます。再度、アラームリコールボタンを押しても消えます。

■センサー録画もアラーム録画と同様にアラームメモリデータに記憶されます。

モニタ

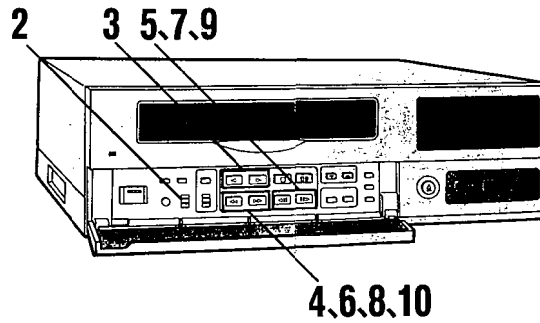
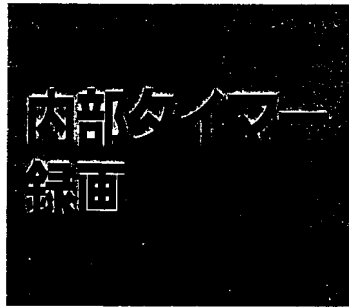
[(ALARM RECALL MEMORY)]		
NO.	DATE	TIME
09	96-10-09	7:00
08	96-10-01	6:00
07	96-09-28	7:00
06	96-09-21	12:00
05	96-09-12	9:00
04	96-08-13	10:00
03	96-08-11	17:00
02	96-08-05	23:00

アラーム番号  
上から順に  
最新データ  
が表示され  
ます。

アラーム入力のあった日付と時刻

■アラーム録画が無かった場合や、リセットした場合は以下のように表示されます。

[(ALARM RECALL MEMORY)]		
NO.	DATE	TIME
??	??-??-??	??:??
??	??-??-??	??:??
??	??-??-??	??:??



(メニュー設定操作ボタン)

ページ (-) ボタン: ページダウン  
 ページ (+) ボタン: ページアップ  
 シフト (▼) ボタン: 項目移動 (下方向)  
 シフト (▶) ボタン: 項目移動 (右方向)  
 セット (-) ボタン: 項目変更 (数値減少)  
 セット (+) ボタン: 項目変更 (数値増加)

内部タイマーを使用して、任意に設定した時間に、録画の開始・終了を行うことができます。

1-10

**1** 22ページ1~2の操作を完了させます。

**2** ↑ **プログラム** ボタンを押して、「メニューにする」(注1)を行います。

```

((DISPLAY))
MODE          T/D
CHARACTER     WHITE
POSITION      L-UPPER
TIME SELECT   24HOURS
DATE          ON
TIME          ON
T-MODE       ON
((REG INDICATE)) CAMERA
NOT REC
    
```

**3** 再生/再生ボタンを押して、メニュー画面6を表示させます。

```

((INTERNAL TIMER REC ))
((TIMER) START END T-M
SUN OFF
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

**4** 戻る/再生ボタンを押します。

```

((INTERNAL TIMER REC ))
((TIMER) START END T-M
SUN ON 0:00 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

**5** 逆コマ送り/コマ送りボタンを押して、「ON」を選択する(注2)を行います。

```

((INTERNAL TIMER REC ))
((TIMER) START END T-M
SUN ON 0:00 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

**6** 戻る/再生ボタンを押して、開始時刻を設定します。

```

((INTERNAL TIMER REC ))
((TIMER) START END T-M
SUN ON 0:00 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

**7** 逆コマ送り/コマ送りボタンを押して、開始時刻の「時」を設定します。

```

((INTERNAL TIMER REC ))
((TIMER) START END T-M
SUN ON 10:00 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

**8** 戻る/再生ボタンを押します。

```

((INTERNAL TIMER REC ))
((TIMER) START END T-M
SUN ON 10:00 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

**9** 逆コマ送り/コマ送りボタンを押して、開始時刻の「分」を設定します。

```

((INTERNAL TIMER REC ))
((TIMER) START END T-M
SUN ON 10:30 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

**10** 戻る/再生ボタンを押して、終了時刻を設定します。

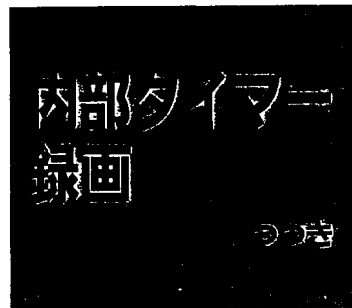
```

((INTERNAL TIMER REC ))
((TIMER) START END T-M
SUN ON 10:30 0:00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

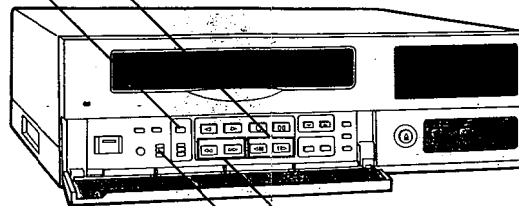
↓(操作続く)

ノート

- (注1) メニュー画面が表示できるのは、ビデオが停止/イジェクト状態の場合のみです。
- (注2) タイマー録画を設定しない場合は「OFF」のままにしておきます。
- (その他)
  - 内部タイマーの設定を行う前に、日付・時刻の設定は、必ず完了させておいてください。
  - 録画開始までに多少時間がかかるため、タイマー録画を行うときは、1分早めに開始時間を設定してください。

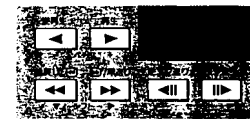


19,20 13,16



18 12,15

(メニュー設定操作ボタン)



ページ (-) ボタン: ページダウン  
 ページ (+) ボタン: ページアップ  
 シフト (▼) ボタン: 項目移動 (下方向)  
 シフト (▶) ボタン: 項目移動 (右方向)  
 セット (-) ボタン: 項目変更 (数値減少)  
 セット (+) ボタン: 項目変更 (数値増加)

1-11

**11** 開始時刻の設定(7-9の操作)と同様にして終了時刻の“時”“分”を設定します。

**12** 押し

```

    ((INTERNAL TIMER REC ))
    (TIMER START END T-M)
    SUN ON 10:30 12:00 72
    MON OFF
    TUE OFF
    WED OFF
    THU OFF
    FRI OFF
    SAT OFF
    DLY OFF
    
```

**13** 押し、  
録画時間モードを  
選択する  
(⇒注1)

```

    ((INTERNAL TIMER REC ))
    (TIMER START END T-M)
    SUN ON 10:30 12:00 48
    MON OFF
    TUE OFF
    WED OFF
    THU OFF
    FRI OFF
    SAT OFF
    DLY OFF
    
```

**14** 4-13の操作を繰り返して、各曜日ごとに録画開始・終了時刻、録画時間モードを設定します。

↑ここまではウィークリタイマーの設定です。(⇒注2)

↓ここからはデイリータイマーの設定です。(⇒注2)

**15** 押し

```

    ((INTERNAL TIMER REC ))
    (TIMER START END T-M)
    SUN ON 10:30 12:00 72
    MON ON 10:00 16:00 72
    TUE OFF
    WED OFF
    THU ON 10:00 18:00 72
    FRI OFF
    SAT ON 9:00 12:00 48
    DLY OFF
    
```

**16** 押し、  
“ON”を選択する  
(⇒注3)

```

    ((INTERNAL TIMER REC ))
    (TIMER START END T-M)
    SUN ON 10:00 12:00 48
    MON ON 10:00 16:00 72
    TUE OFF
    WED OFF
    THU ON 10:00 18:00 72
    FRI OFF
    SAT ON 9:00 12:00 48
    DLY ON 10:00 0:00 72
    
```

**17** 7-12の操作を繰り返して、ウィークリタイマーと同様に、録画開始・終了時刻、録画時間モードを設定します。

**18** “切”にする  
(⇒注4)

通常画面

**19** 押し、  
“INT”を  
表示させる  
(⇒注5)

2 2H MT ALARM 10:10

**20** 解除するには  
押し、  
“INT”  
を消灯させる

2 2H ALARM 10:28

ノート

(注1)  
 デイリータイマーとウィークリタイマーが同じ時間帯に重なった場合、録画時間モードはウィークリタイマーが優先されます。  
 (⇒55ページ)

(注2)  
 ウィークリ (曜日) タイマーとは各曜日ごとに異なる時間帯でタイマーを設定することができます。

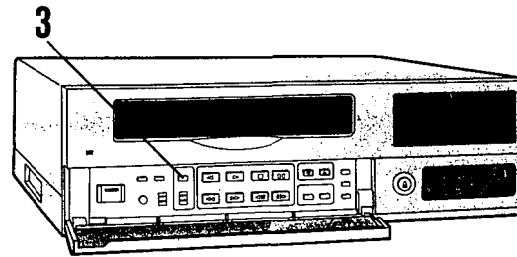
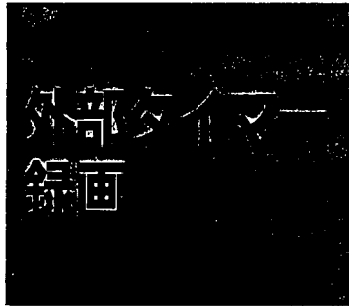
デイリー (毎日) タイマーとは毎日の決まった時間帯にタイマーを設定することができます。

(注3)  
 デイリータイマーを設定しない場合、16の操作で“OFF”に設定します。

(注4)  
 メニュー画面で設定した内容は、プログラムスイッチを“切”に戻した時点で確定されます。一旦設定された内容は、半永久的に保持されます。

(注5)  
 録画モードを“INT”に設定すると、電源が切れた状態になります。設定した時刻になると、自動的に録画が開始されます。

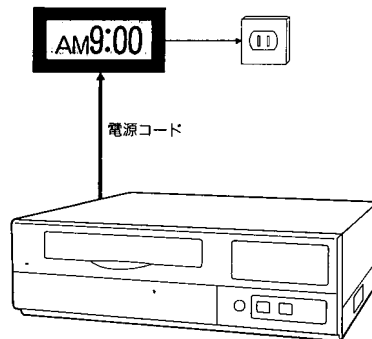




外部に設けたオーディオタイマーなどで、本機への電源供給をオン/オフし、タイマー録画することができます。

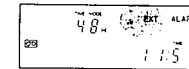
**1** 22ページの1~4の操作を完了させます。

**2** 外部タイマー(オーディオタイマーなど)を接続します。



■ビデオの設定が終わるまでは、通電状態にしておいてください。

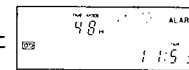
**3** 録画モードを押して、“EXT”を表示させる(→注1)



**4** ■外部タイマー側の設定を行います。(→注2)

**5** ■外部タイマーで設定した時刻になると、録画が開始されます。

**6** 解除するには通電状態のときに録画モードを押して“EXT”を消灯させる

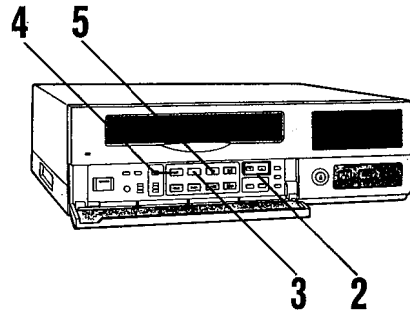


ノート

(注1)  
カセットが挿入されていない場合、カセットの誤消去防止つめが折れている場合、プザー音とともに“EXT”が点滅します。

(注2)  
外部タイマーの設定のしかたについては、外部タイマーに添付されている取扱説明書をご参照ください。

(その他)  
外部タイマー録画モードで、通電されていない状態のとき、アラーム入力があっても、センサー録画は開始されません。



録画した内容を映し出す操作です。

- 1** ■接続、接続機種種の準備を完了させる (→71ページ)  
 ■電源を入れる  
 ■録画済みのカセットを入れる

**2** 押して、時間モードを選択する (→右ページの時間モードについて)

**3** 通常の再生の場合に押す

**4** 逆方向再生の場合に、押す  
1コマ録画の逆再生はできません。

**5** 再生を停止するときに押す

## トラッキング調整について

再生画にこんなノイズが現れたら

■本機は、オートトラッキング機能を搭載していますので通常は、トラッキングの調整は不要です。しかし右のようなノイズが出る場合は、トラッキングの再調整を行ってください。

■+ボタンを同時に押します。それでもノイズがでる場合は、+または-ボタンを単独で押します。

## 画質調整について

再生画の調整を行う場合

■右に回すと、ハッキリした画像になります。  
 ■左に回すと、やわらかい画像になります。

## 擬似Vについて

2H、6Hモード以外の再生中、コマ送り (+) ボタンで擬似VのON/OFFができ、ダンシングを軽減できます。擬似VがONのときは動作モード表示は▶になります。擬似VがOFFのときは動作モード表示は▶になります。  
 ・(擬似VがOFFのとき) 2Hモードで記録してL12H~L24Hモードで再生することができますが画面が乱れます。しかし故障ではありません。

## 時間モードについて

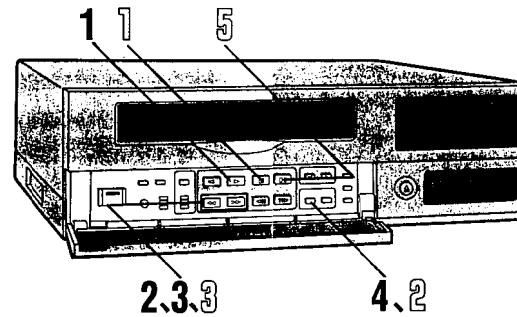
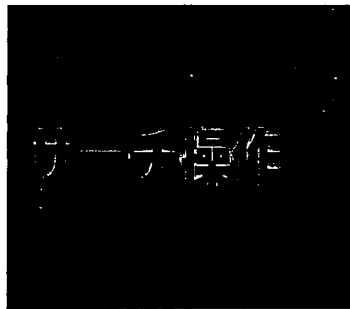
- 間欠録画されたテープを同じ時間モードで再生する場合、次の点にご注意ください。
- ・画像が多少横ゆれを起こしますが、異常ではありません。
  - ・画像の上部が少し歪む場合がありますが、異常ではありません。
  - ・L12~L24モードにおいて画面ゆれが発生しますが、異常ではありません。
  - ・音声は完全な状態では再生されませんが、異常ではありません。
- 記録する時間モードによって再生出来ない時間モードがあります。

録画時間モード	再生時間モード	
	2H	6H
2H	再生可能	再生不可能
L12H~480H	再生可能	再生不可能
6H	再生不可能	再生可能
HDR (24H~960H)	再生不可能	再生可能

■再生時に、録画済みテープの時間モードが2Hの場合は2Hモードに、6Hの場合は6Hモードに自動で切り換わります。

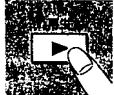
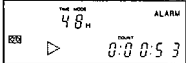

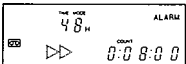
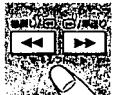
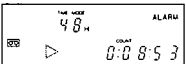
## その他

- 逆再生時は、音声はできません。また1コマ録画モードは逆再生できません。
- 音声の記録時、記録したモードと再生するモードが異なる場合は、音程も変化します。
- L (リニアスロー) モードでの再生では、画面ゆれが発生しますが異常ではありません。
- 6Hモードで録画されたテープをリニアスローモードで再生すると、画面にノイズが多く出ますが異常ではありません。
- 他のVTRで記録したテープをHDRモードで再生すると、トラッキング調整を行ってもノイズが出る場合がありますが故障ではありません。


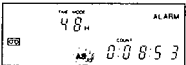


サーチ再生、アラームサーチ再生、メモリーストップを行う操作です。時間/カウンタボタンを押してカウンタ表示にします。(21ページ参照)

■サーチ再生 (早送り/巻戻し再生) のしかた



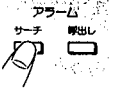
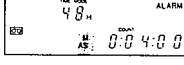

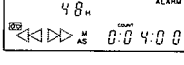

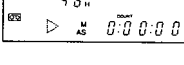

- 1  押して、再生を開始する 
- 2  押し続ける (→注1) 
- 3  指を離すと通常再生に戻る 

サーチ操作を継続させる場合は、アラームサーチモードにします。

- 4  押して“AS”を表示させる 

- ・再生中に、早送り/巻戻しボタンを押すと、サーチ動作が継続して行われます。
- ・再度、再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

■アラームサーチ (アラーム録画部分の検索) /メモリーストップのしかた

- 1  押して、停止状態にする 
- 2  押して“AS”または“M”を表示させる (→注2) 
- 3  押して、早送り/巻戻しさせる 
- 4 アラームサーチ  
押されたボタンの方向で、最初のアラーム録画部分をサーチして、静止画再生になる (→注3)  
メモリーストップ  
カウンタ“0”付近で停止します。
- 5  再生する場合押す   
メモリーストップ  
 再生

ノート

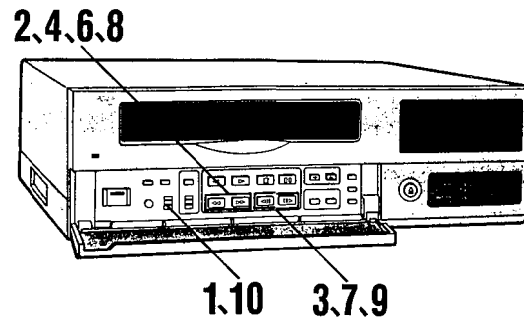
(注1)  
サーチ再生は、巻戻しボタンを押すと、標準モード(2H)を5倍速で逆方向に再生し、早送りボタンを押すと、5倍速で正方向に再生します。

(注2)  
アラームサーチ/メモリーストップモードを解除する場合、再度、アラームサーチボタンを押して、表示管から“AS”または“M”表示を消します。

AS : アラームサーチモード  
M : メモリーストップモード

(注3)  
アラームサーチ機能でサーチできるのは、2Hまたは6Hモードで録画されたアラーム録画部分だけです。

# 日付・時刻 合わせ



(時刻・設定操作ボタン)

シフト (▼) ボタン：項目移動  
シフト (▶) ボタン：項目移動  
セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)  
セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

日付・時刻の設定を行います。

**1** “時刻合わせ”  
にする  
(⇒注1,2,3)  
簡単に時刻を合わせる (⇒注4)

**2** 押す  
年が点滅する

**3** 押して、  
数値を設定する

**4** 押す

**5** 3~4の操作を繰り返して、月⇒日の順で設定する。

**6** 年月日を設定後、  
押す  
(⇒注4)

**7** 押して、  
時を設定する

**8** 1回押す

**9** 押して、  
分を設定する

**10** “切”にする  
(⇒注5)

ノート

(注1)  
録画時に時刻合わせを行うと、時刻合わせを行  
っている画面が録画されます。

(注2)  
モニタテレビにも同様の画面が表示されます。

TIME ADJUST  
96-1-1 WED  
00:00:00

(注3)  
初期表示は、96年1月1日です。  
最大は11年12月31日です。

(注4)  
時報などのタイミングに合わせてリセットボタ  
ンを押しとき±15分の補正ができます。  
(例)  
20:13→20:00  
20:48→21:00  
20:35→20:35 (変化しません。)

(注5)  
10の操作を行った瞬間から時刻の歩進が開始さ  
れます。  
時報などのタイミングに合わせて、操作すると  
正確な時刻設定ができます。

(その他)  
・時間の月差は最大±60秒ずれることがありま  
す。  
・日付・時刻のデータは、1カ月以内であれば停  
電補償されます。  
(ただし、40時間以上連続通電の場合)  
・うるう年は自動的に調整されます。

## 操作上のお願い

### 操作上のお願い

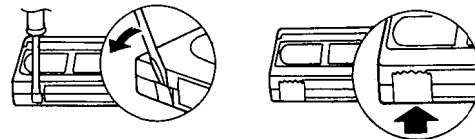
- 2H~L24Hモードでの録画中、一時停止ボタンを押すと、約3秒間逆方向にテープを走行したのち停止状態になります。再度押すと、約3秒間テープが走行してから録画が再開されます。
- リニアスローモードでの録画映像は間欠ですが、キャプスタンが低速で連続回転していますので、音声の記録が行えます。
- タイムラプスモードでは、キャプスタンが間欠回転しますので音声の記録はできません。
- メニュー画面②で録画時間モードを“OFF”以外に設定した場合、録画中にサブパネル内の時間モードボタンで時間モードの変更はできません。“OFF”に設定した場合は、録画中でも、時間モードの変更を、サブパネル内の時間モードボタンで変更することができます。
- 停電があった場合、停電が復帰して本機に電源が供給されると、モニタ画面に15秒間、以下のパワーロスメモリ画面が表示されます。

POWER LOSS 05 96-10-31  
17:42

- アラーム録画中は、時間モードボタンは受け付けません。
- 静止画再生中に録画ボタンを押すと、録画一時停止モードになり、モニタにはE-E画が表示されます。
- 同一場所で正逆方向コマ送りを続けると、ノイズがでる場合があります。コマ送りを続けて行くとノイズは出なくなります。

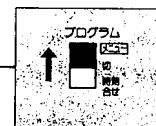
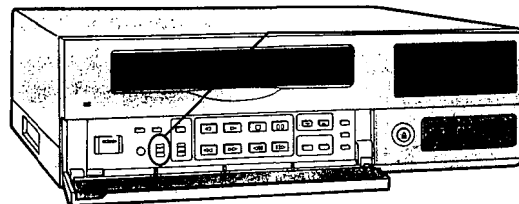
### 誤消去防止つめについて

- 大切な録画テープを誤って消去してしまうことをカセットの“つめ”を折ることで、防止できます。
- つめ折れカセットに再度録画する場合は、折り取った部分にゼロハンテープを二重にしっかりと貼ります。



矢印の方向に折る

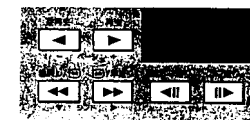
# メニュー画面とは



“メニュー”にする

- ・前回設定していた画面が表示されます。
- ・始めて設定する場合は、メニュー画面1が表示されます。

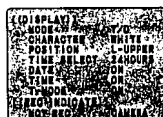
## (メニュー設定操作ボタン)



- ページ (-) ボタン: ページダウン
- ページ (+) ボタン: ページアップ
- シフト (▽) ボタン: 項目移動 (下方向)
- シフト (▷) ボタン: 項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン: 項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン: 項目変更 (数値増加)

本機の多彩な機能をオンスクリーンで設定することができます。

### ■メニュー画面1 (画面表示の設定)



モニターテレビに表示される情報の設定を行うメニュー画面です。

### ■メニュー画面2 (VTRモードの設定)



- ・録画時間モードの設定
- ・カセット挿入時動作の設定
- ・テープ終端動作の設定
- ・イジェクト動作の設定
- ・電源出力端子機能の設定

### ■メニュー画面3 (VTRモードの設定2)



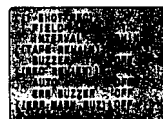
- ・パワーロスメモリの表示
- ・映像信号の選択
- ・時刻合わせ機能の設定

### ■メニュー画面4 (アラーム録画モードの設定)



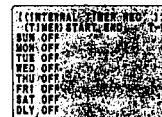
- ・アラーム録画モードの設定
- ・リセットパルスの選択
- ・カメラ切り換え設定

### ■メニュー画面5 (1コマ録画モードの設定)



- ・1コマ録画モードの設定
- ・テープ残量警告ブザーの設定
- ・自動録画チェックの設定
- ・エラー表示警告ブザーの設定

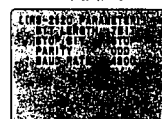
### ■メニュー画面6 (内部タイマー録画モードの設定)



- ・デイリータイマーの設定
- ・ウイークリータイマーの設定

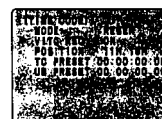
別売品のRS-232CインターフェースアダプタAG-1A671を装着すると、以下のメニュー画面も表示されます。(→85ページ)

### ■メニュー画面7 (RS-232Cパラメータの設定)



- ・RS-232Cパラメータの設定

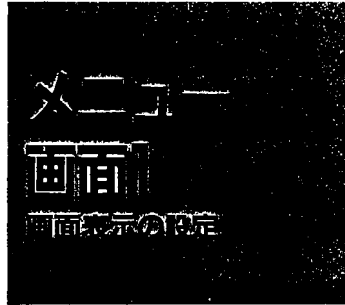
### ■メニュー画面8 (タイムコードの設定)



- ・タイムコードの設定

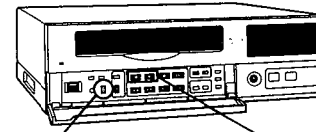
## ノート

- メニュー画面は、VTRが停止またはイジェクト状態のときのみ表示させることができます。
- メニュー画面の操作方法
  - 1) プログラムスイッチを“メニュー”にする
  - 2) +/-ページボタンで希望のメニュー画面を選択します。  
最終ページの次ページは先頭ページ、先頭ページの前ページは最終ページになります。
  - 3) ▽シフトボタンを押すと、一行目が点滅する。
  - 4) ▽▶シフトボタンで設定項目を選択する。
  - 5) +/-セットボタンで設定する。
  - 6) 設定が終了しましたら、プログラムスイッチを“切”に戻します。  
各項目の設定が確定されます。



((DISPLAY))  
 MODE T/D  
 CHARACTER WHITE  
 POSITION L-UPPER  
 TIME SELECT 24HOURS  
 DATE ON  
 TIME ON  
 T-MODE ON  
 (([REC INDICATE]))  
 NOT REC CAMERA

[ 画面の出し方 ]



プログラム 希望のメニュー画面が表示されるまで押す  
 “メニュー”にする  
 どちらか

(メニュー設定操作ボタン)



ページ (-) ボタン: ページダウン  
 ページ (+) ボタン: ページアップ  
 シフト (▼) ボタン: 項目移動 (下方向)  
 シフト (▶) ボタン: 項目移動 (右方向)  
 セット (-) ボタン: 項目変更 (数値減少)  
 セット (+) ボタン: 項目変更 (数値増加)

モニタテレビ上に映し出される表示の設定を行います。

■表示モードの選択

**1** MODE 通常表示される画面を選択します。  
 T/D : 日付・時刻表示画面  
 LAP : ラップタイム表示画面  
 PAGE : ページカウント表示画面 (→注1)  
 (ただし、時間モードが“000H”に設定されているときのみ表示されます。)

■表示文字の種類選択

**2** CHARACTER 表示文字の種類を選択します。  
 WHITE : 白文字 =ABCDE  
 BLACK : ふちどり文字=A@◎◎◎◎

■表示位置の選択\*

**3** POSITION 表示位置を選択します  
 L-UPPER : 左上 L-U R-U  
 R-UPPER : 右上  
 L-BOTTOM : 左下 CENTER  
 R-BOTTOM : 右下 L-B R-B  
 CENTER : 中央

■時刻表示モードの選択

**4** TIME SELECT 時刻表示を24時間制かAM/PM制に選択します。  
 24HOURS : 24時間制表示=22:10:45  
 AM/PM : AM/PM表示=10:10:45P

■日付表示のON/OFF

**5** DATE 日付の表示をON/OFFします。

■時刻表示のON/OFF

**6** TIME 時刻の表示をON/OFFします。

■時間モード表示とアラーム回数表示のON/OFF

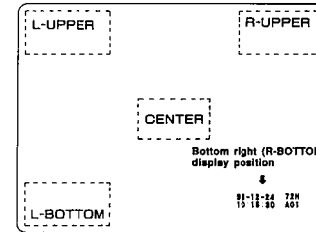
**7** T-MODE 時間モードとアラーム回数の表示をON/OFFします。

■記録画面の選択

**8** (([REC INDICATE])) NOT REC 記録モード以外の時の表示を選択します。  
 CAMERA : カメラの入力信号  
 BLUE : 記録モード以外の時はブルー。  
 ・ビデオ入力端子とS-VIDEO入力端子に同時に信号を入力して使用しないでください。

\*表示位置の微調整

停止、イジェクト中に、トラッキング (+, -) を押します。  
 + を押すと右へ移動、- を押すと下へ移動します。



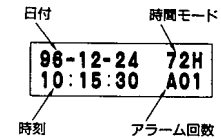
モニタテレビ

十とーを同時に押すとメニューの設定のプリセット位置になります。右または下を越えると左または上から移動が始まります。

ノード

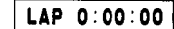
(注1)

日付・時刻表示画面



ラップタイム表示画面

現在の時刻に関係なく、録画を開始した時点からの録画通算時間を秒単位で表示します。(ただし、録画一時停止時はカウントしません。)

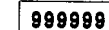


リセットボタンを押すと“0:00:00”にリセットすることができます。

ページカウント表示画面

1コマ録画時、1コマ記録することに1ページとしてカウントし、その総ページ(コマ)数を表示します。

(1コマ録画→52.64ページ)



リセットボタンを押すと“0”にリセットすることができます。

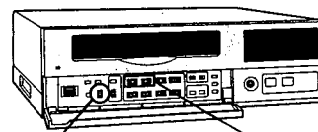
(その他)

各項目の設定は、プログラムスイッチを切り戻した時点で確定されます。



(VTR MODE SELECT 1)  
 (HIGH DENSITY REC)  
 MODE OFF  
 (REC T-MODE) OFF  
 (TAPE IN) STOP  
 (TAPE END) STOP  
 ALARM IN STOP  
 (EJECT OPERATION) STOP  
 MODE EJECT  
 (AC OUT LET) LINK

【画面の出し方】



プログラムの時間合せ  
 “メニュー”にする  
 再生  
 希望のメニュー画面が表示されるまで押す

（メニュー設定操作ボタン）

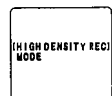


ページ (-) ボタン：ページダウン  
 ページ (+) ボタン：ページアップ  
 シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)  
 シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)  
 セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)  
 セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

VTRモードの各種設定を行います。

■高密度記録モードの選択

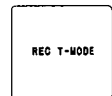
1



高密度記録 (HDR) を設定します。  
 HDR可能な時間モードはHDR表示が点灯します。  
 HDRに設定しますと、同じ時間モードとくらべて記録間隔が約1/3になり、約3倍のコマ数を記録することができます。

■記録時間モードの選択

2



録画時間モードを設定します。  
 録画を開始すると、必ず設定した時間モードになります。(→60ページ)  
 OFF：本機サブパネル部の時間モードボタンで任意に時間モードを設定できます。  
 録画中に変更することもできます。  
 2H：2時間モード(一般のビデオの標準モードと互換性があります)  
 6H：6時間モード(一般のビデオの3倍モードと互換性があります)  
 L12H：12時間モード(リニアスロー記録)  
 L18H：18時間モード(リニアスロー記録)  
 L24H：24時間モード(リニアスロー記録)  
 24H：24時間モード(HDR可能間欠録画)  
 48H：48時間モード(HDR可能間欠録画)  
 72H：72時間モード(HDR可能間欠録画)  
 96H：96時間モード(HDR可能間欠録画)  
 120H：120時間モード(HDR可能間欠録画)  
 180H：180時間モード(HDR可能間欠録画)  
 240H：240時間モード(HDR可能間欠録画)  
 480H：480時間モード(HDR可能間欠録画)  
 960H：960時間モード(HDRのみの間欠録画)  
 000H：1コマ録画モード(→52、62ページ)(→注1、2)  
 ■間欠録画および1コマ録画モードは音声の記録はできません。

■セット挿入時の動作選択

3



カセットを挿入したときのVTRの動作を選択します。  
 STOP：停止モード  
 REC：自動録画モード(→注3)  
 REW→REC：カセットを入れると、一旦テープ始端まで巻戻してから録画が自動で開始されます。

■テープ終端での動作選択

4



テープ終端でのVTRの動作を選択します。  
 STOP：停止モードになります。  
 BUZZER：停止し、ブザーが鳴ります。  
 REW：オートリワインドモード(→注4)  
 REPEAT：リピート録画モード(→注5)

■アラーム入力が発生した場合のオートリワインド機能の解除設定

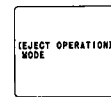
5



録画中、アラーム入力があった場合、オートリワインド機能を解除するかどうかを選択します。  
 STOP：オートリワインド機能は解除します。テープ終端で停止します。  
 CONTINUE：オートリワインド機能は解除しません。(4の設定に従う)

■カセット取り出し (イジェクト) ボタンの動作選択

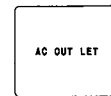
6



取り出しボタンを押したときの動作を選択します。  
 EJECT：ボタンを押すと、すぐカセットがイジェクトされます。  
 REW→EJECT：ボタンを押すと、一旦テープ始端まで巻き戻してからカセットがイジェクトされます。

■電源出力端子の機能選択

7



後面部にある電源出力端子の電源供給を本機の電源スイッチと連動・非連動にします。  
 LINK：本機の電源スイッチに連動します。  
 NON-LINK：本機の電源スイッチには無関係に常に電源が供給されます。

ノート

(注1)  
 本機の時間モードは、2時間テープを基本として設定されていますので、使用するカセットによって以下ようになります。(→60ページ)  
 ・90分テープ：選択した時間の3/4時間  
 ・60分テープ：選択した時間の1/2時間  
 ・30分テープ：選択した時間の1/4時間

(注2)  
 リニアスロー録画とは  
 テープ走行速度をゆっくりにして音声を連続的に録画する方式です。(音声記録が可能)

間欠 (タイムラプス) 録画とは  
 テープを間欠に送りながら録画を行うことにより、長時間の録画が可能になります。(音声記録は不可能)

(注3)  
 自動録画モードとは  
 カセットを挿入するだけで、録画が自動的に開始されます。

(注4)  
 オートリワインド機能とは  
 テープ終端まで録画すると自動的にテープの始端 (テープ始端) まで巻き戻す機能です。

(注5)  
 オートリピート録画機能とは  
 テープ終端まで録画すると、自動的にテープ始端まで巻戻し、繰り返して録画を行います。

(その他)  
 各項目の設定は、プログラムスイッチを切り戻した時点で確定されます。

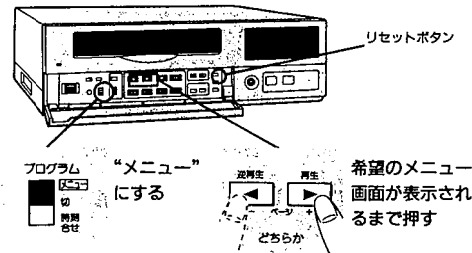




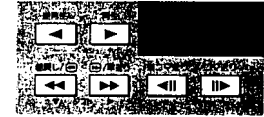
```

((VTR MODE SELECT 2))
(POWER LOSS MEMORY)
** **-*--** **:**
(VIDEO)
MODE          AUTO
IN            LINE
S-VHS REC    ON
(TIME ADJUSTING)
SET TIME     9:00
OPERATION    SLAVE
    
```

[ 画面の出し方 ]



(メニュー設定操作ボタン)

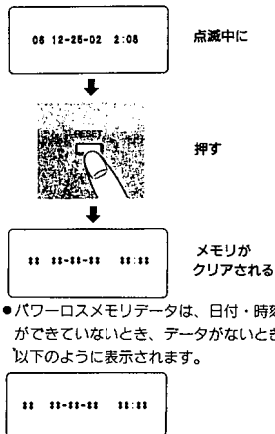


ページ (-) ボタン: ページダウン  
 ページ (+) ボタン: ページアップ  
 シフト (▼) ボタン: 項目移動 (下方向)  
 シフト (▲) ボタン: 項目移動 (上方向)  
 セット (-) ボタン: 項目変更 (数値減少)  
 セット (+) ボタン: 項目変更 (数値増加)

VTRモードの各種設定を行います。

■パワーロスメモリーを表示 (⇒注1)

- 1 **(POWER LOSS MEMORY)** パワーロスメモリーを表示します。  
 ●シフト▼ボタンを押して、番号を点滅させてからセット+ボタンまたは-ボタンを押すと、過去4回までのメモリーを順次表示させることができます。  
 ●パワーロスメモリーのデータは以下のようにするとクリアできます。



■映像信号モードの選択

- 2 **(VIDEO) MODE** カラー/白黒自動切り換え回路の働きを選択します。  
 AUTO : 入力信号に応じて、自動的に回路を切り換えます。(⇒注2)  
 COLOR : 強制カラーモード  
 B/W : 強制白黒モード (⇒注3)

■入力映像信号の選択

- 3 **(VIDEO) IN** 入力映像信号を選択します。  
 LINE : 映像入力端子 (ライン) に入力された信号を入力映像信号とします。  
 S-VIDEO : S映像端子に入力される信号を、入力信号とします。

■S-VHS録画モードの設定

- 4 **S-VHS REC** S-VHS録画モードの設定を行います。  
 ON : VHSテープとS-VHSテープの自動判別を行い、それぞれのモードで記録します。  
 OFF : 使用するカセットに関わらず、常にVHSモードで録画します。再生時は自動判別を行います。

■時刻合わせ機能の時刻設定

- 5 **(TIME ADJUSTING) SET TIME** 時刻を設定します。  
 “時”だけの設定になります。  
 “分”は00分のままです。  
 RESETを選びますと±15分の範囲内は00分00秒にリセットされます。  
 (例) 10時14分→10時00分00秒  
 10時47分→11時00分00秒  
 セット+または-ボタンで時刻を設定します。

■時刻合わせ機能の選択 (⇒注4)

- 6 **(TIME ADJUSTING) OPERATION** 時刻合わせ機能を選択します。  
 SLAVE : 外部スイッチまたはマスター機により本機の時刻を合わせます。  
 MASTER : 本機をマスター機として他のビデオの時刻を合わせます。

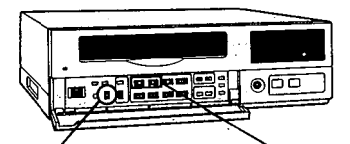
ノート

(注1) パワーロスメモリーについて  
 停電があった場合、99回まで停電回数をカウントし、その回数、日付・時刻を、最新の4回までをメモリーします。  
 (注2) 映像入力に白黒信号とカラー信号を混在させないでください。画面乱れ、ノイズ発生の原因になります。  
 (注3) 入力信号によっては、自動判別を誤る場合があります。このときは、カラー信号はCOLORに、白黒信号はB/Wにします。(誤動作を防ぐため、入力信号に合わせて設定することをお勧めします。) B/Wの設定時にカラー信号を入力した場合やCOLORの設定時に白黒信号を入力した場合は、不自然な映像が記録されます。  
 (注4) SLAVEモードについて  
 後面ターミナル部の時刻合わせターミナルとアースを短絡させると、5で設定した時刻に本機の時計が合わされます。  
 また同時に時刻合わせ出力ターミナルからパルス(L)が出力されます。  
 MASTERモードについて  
 本機の時計が5で設定した時刻になると、時刻合わせ出力ターミナルからパルス(L)が出力されます。  
 (その他)  
 各項目の設定は、プログラムスイッチを切り戻した時点で確認されます。



(ALARM/SENSOR REC)  
 MODE OFF  
 DURATION 0.5MIN  
 BUZZER OFF  
 REPEAT IN OFF  
 (RESET PULSE)  
 INPUT LEVEL HIGH  
 (CAMERA SW)  
 TIMING 1FIELD  
 MODE TM2

[ 画面の出し方 ]



プログラム “メニュー” 希望のメニュー  
 切にする 画面が表示され  
 まで押す  
 どちらか

(メニュー設定操作ボタン)

ページ (-) ボタン：ページダウン  
 ページ (+) ボタン：ページアップ  
 シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)  
 シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)  
 セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)  
 セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

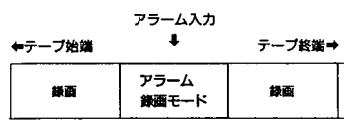
アラーム録画モードの設定を行います。

■アラーム録画時間モードの選択

1 MODE

アラーム入力があった場合の録画時間モードを選択します。

OFF : アラーム録画は行いません。  
 2H : 2時間モード  
 6H : 6時間モード  
 L12H : 12時間モード (リニアスロー)  
 L18H : 18時間モード (リニアスロー)  
 L24H : 24時間モード (リニアスロー)  
 24H : 24時間モード (タイムラプス)  
 NO CHANGE : アラーム入力が発生しても、録画時間は変更しません。



●タイムラプスモードで録画中にアラーム入力があると、録画時間モードが指定したモードに切り換わり、異常事態を克明に記録します。

■アラーム録画間隔の設定

2 DURATION

アラーム録画を開始してから終了するまでの時間を設定します。

0.5MIN  
 }  
 6MIN : 0.5分、1.0分、1.5分、2.0分、3.0分、6.0分まで設定できます。  
 CONTINUE : テープ終端までアラーム録画します。  
 MANUAL : アラーム入力が継続している間、アラーム録画されます。

■ブザーのON/OFF

3 BUZZER

アラーム録画時にブザーを鳴らす設定を行います。

OFF : ブザーはなりません。  
 ON : アラーム録画中ブザーが鳴ります。

・ブザーを解除するのに何か操作ボタンを押します。

■リピートイン機能の設定

4 REPEAT IN

録画時のオートリワインド中にアラーム入力があった場合、アラーム録画を行うかどうかの設定を行います。

OFF : アラーム録画を行いません。  
 ACCEPT : アラーム録画を行います。(注3)

■アラームリセットパルスの受け付けレベル選択

5 (RESET PULSE) INPUT LEVEL

アラームリセットパルスの受け付けレベルを選択します。

HIGH : ハイレベルになります。  
 LOW : ローレベルになります。(注7Bページ)

■カメラ切り換えタイミングの設定

6 (CAMERA SW) TIMING

録画時、外部シーケンシャルスイッチャに対して出力するカメラ切り換えタイミングを設定します。

1、2、3、4、5、10、20、30、60フィールドごとに切り換えます。(注1)

■カメラ切り換えモードの選択

7 (CAMERA SW) MODE

カメラ切り換えをフィールド単位で行うか、フレーム単位で行うかを選択します。(注2)

TM1 : フレーム単位で切り換え  
 TM2 : フィールド単位で切り換え

ノート

(注1)  
 7のカメラ切り換えモードの選択で“TM1”を選択した場合、カメラの切り換えはフレーム単位になります。

(注2)  
 TM1は、フレームスイッチャWJ-FS10A (別売品)を接続する場合に選択します。  
 TM2は、フレームスイッチャWJ-FS20 (別売品)やその他のシーケンシャルスイッチャと接続する場合に選択します。(注5ページ)

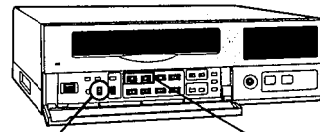
(注3)  
 リピートイン機能で“ACCEPT”を選択する場合は、1のアラーム録画モードを必ず“OFF”以外に設定しておいてください。“OFF”のまま“ACCEPT”を選択すると、VTRが録動作する場合があります。

(その他)  
 ●各項目の設定は、プログラムスイッチを切り戻した時点で確定されます。  
 ●アラーム録画間隔の設定を「MANUAL」でご使用の場合には、(TAPE END)MODEを「REW」、「REPEAT」以外に設定してください。



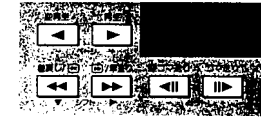
((1-SHOT REC)) FIELD 1  
 INTERVAL 3MIN  
 ((TAPE REMAIN)) BUZZER OFF  
 ((REC REVIEW)) AUTO OFF  
 ERR BUZZER OFF  
 ((ERR WARN BUZ)) OFF

[ 画面の出し方 ]



プログラムの  
 切り替え  
 “メニュー”  
 にする  
 定再生 再生  
 希望のメニュー  
 画面が表示され  
 るまで押す  
 どちらか

(メニュー設定操作ボタン)



ページ (-) ボタン: ページダウン  
 ページ (+) ボタン: ページアップ  
 シフト (▼) ボタン: 項目移動 (下方向)  
 シフト (▶) ボタン: 項目移動 (右方向)  
 セット (-) ボタン: 項目変更 (数値減少)  
 セット (+) ボタン: 項目変更 (数値増加)

アラーム録画モードの設定を行います。

■1コマの録画時間の選択

**1** FIELD  
 1コマ録画モードの1コマの録画時間をフィールド単位で選択します。  
 1, 2, 3, 4, 5, 10, 15, 20, 30, 40, 50, 60  
 (⇒注1)

■1コマ録画のインターバル時間設定

**2** INTERVAL  
 1コマ録画する時間間隔を設定します。  
 1 : 1分間のインターバル  
 2 : 2分間のインターバル  
 3 : 3分間のインターバル

録画時間	インターバル時間	インターバル時間
↓		

■テープ残量警告ブザーのON/OFF

**3** ((TAPE REMAIN)) BUZZER  
 録画モードでテープ終端の付近でのブザーを鳴らす設定を行います。  
 ON : ブザーが鳴ります。  
 同時に表示管のREMAINが点滅します。  
 OFF : ブザーは鳴りません。

■自動録画チェック機能のON/OFF

**4** ((REC REVIEW)) AUTO  
 本機が録画を開始すると数秒間録画を行い、その内容を自動的にチェックする設定を行います。  
 ON : 録画レビューを行います。  
 OFF : 録画レビューは行いません。

■録画チェック時のエラーブザーのON/OFF

**5** ((REC REVIEW)) ERR BUZZER  
 録画チェック中、チェックの内容が不良の時、ブザーを鳴らす設定を行います。  
 ON : ブザーを鳴らします。  
 OFF : ブザーは鳴りません。

■エラー表示の警告ブザーON/OFF

**6** ((ERR WARN BUZ))  
 本機に異常が発生した時、ブザーを鳴らす設定を行います。  
 ON : ブザーを鳴らし、エラーを警告します。  
 OFF : ブザーは鳴りません。  
 モニタテレビ画面上にもエラー表示を行います。

自動録画チェック機能

停止状態から録画を開始したとき、録画チェックを自動的に行う機能です。最初に録画を数秒間行い、その内容を自動的に録画チェックします。録画チェック動作後、ヘッド汚れ、テープ劣化により適正なビデオレベルが得られなかった場合、表示管のカセットマーク (C) が点滅し、同時に自動ヘッドクリーニングを3回繰り返します。その後再度、数秒間録画を行い、その内容を録画チェックします。チェック結果が良好の場合は、カセットマークの点滅は消え録画が開始されます。チェック結果が不良の場合は、カセットマークの点滅はそのまま録画が開始されます。(⇒81ページ)

機能設定方法

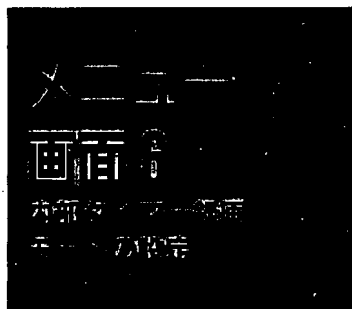
メニュー画面5の「REC REVIEW」のAUTO設定をONにします。

●自動録画チェック機能が働いている間は、録画チェックボタンを押さないでください。VTRが誤動作する場合があります。

ノート

(注1)  
 設定フィールドの1フィールド当たりの録画間隔は1秒です。

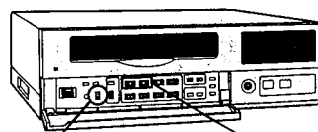
(その他)  
 各項目の設定は、プログラムスイッチを切り戻した時点で確定されます。



```

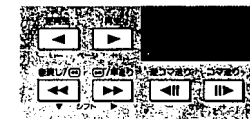
((INTERNAL TIMER REC ))
(TIMER) START END T-M
SUN OFF
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
  
```

[ 画面の出し方 ]



プログラム “メニュー”  
にする  
再生 再生  
希望のメニュー  
画面が表示され  
るまで押す  
どちらか


(メニュー設定操作ボタン)




ページ (-) ボタン: ページダウン  
ページ (+) ボタン: ページアップ  
シフト (▼) ボタン: 項目移動 (下方向)  
シフト (▲) ボタン: 項目移動 (上方向)  
セット (-) ボタン: 項目変更 (数値減少)  
セット (+) ボタン: 項目変更 (数値増加)

内部タイマーの設定を行います。

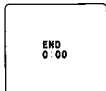
■内部タイマーモードのON/OFF

**1**  内部タイマー設定モードをON/OFFします。  
ON : 内部タイマー録画が設定されます。  
OFF : 内部タイマー録画が設定されません。

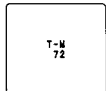
■タイマー録画開始時刻の設定

**2**  内部タイマー録画の開始時刻を設定します。  
シフトボタンで設定項目を選択し、セットボタンで数値を設定します。

■タイマー録画終了時刻の設定

**3**  内部タイマー録画の終了時刻を設定します。  
シフトボタンで設定項目を選択し、セットボタンで数値を設定します。

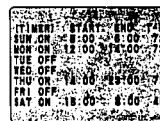
■録画時間モードの設定

**4**  内部タイマー録画する場合の記録時刻モードを設定します。  
2H、6H、L12H、L18H、L24H、24H、48H、72H、96H、120H、180H、240H、480H、960H (H0H設定のみ)、000H

■ウイクリータイマー録画

日曜日から土曜日までのあいだの各曜日ごとに、1日1回内部タイマー録画開始・時刻時間を設定できます。

各曜日ごとに、内部タイマーのON/OFF、開始・終了時刻の設定、録画モードの設定を行います。



■デイリータイマー録画

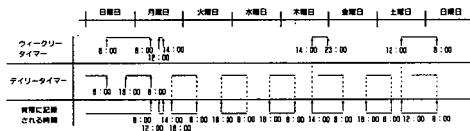
毎日の決まった時刻に内部タイマー録画を、開始・終了させることができます。



■ウイクリータイマーとデイリータイマーを組み合わせた場合



左の画面のように設定された場合はウイクリー、デイリーの各タイマー録画と実際のテープ上に記録される時間は次のようになります。

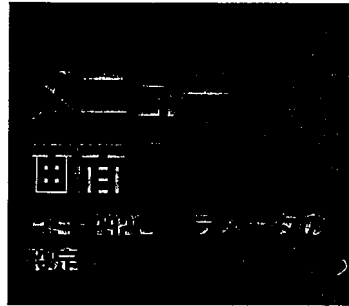


■重なった部分の録画時間モードは、ウイクリータイマー録画モードが優先されます。

ノート

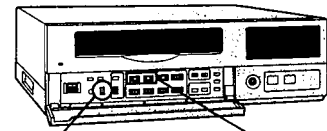
- 日付・時刻が設定されていないときは、内部タイマー録画は動作しません。
- 設定時刻の表示 (24時間制かPM/AM制) は、日付・時刻設定で指定したモードに従います。
- 内部タイマー設定は、“ON”で開始・終了時刻を設定したあと“OFF”にすると、設定時刻の表示は、一旦消えますが、再度“ON”にすると同じ表示がされます。
- ウイクリータイマー録画とデイリータイマー録画を組み合わせで設定した場合、重なった時間帯では、ウイクリータイマー録画記録時間モードの設定が優先されます。
- 各項目の設定は、プログラムスイッチを切り戻した時点で確定されます。

■別売のAG-IA670装着の場合のみ表示



(RS-232C PARAMETER)  
 BIT LENGTH 7BIT  
 STOP BIT STOP-1  
 PARITY ODD  
 BAUD RATE 9600

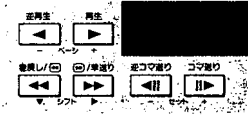
[画面の出し方]



プログラム切替

再生

(メニュー設定操作ボタン)



ページ (-) ボタン: ページダウン  
 ページ (+) ボタン: ページアップ  
 シフト (▼) ボタン: 項目移動 (下方向)  
 シフト (▶) ボタン: 項目移動 (右方向)  
 セット (-) ボタン: 項目変更 (数値減少)  
 セット (+) ボタン: 項目変更 (数値増加)

1-24

■キャラクタ長の設定

**1** **BIT LENGTH**  
 キャラクタ長を設定します。  
 7BIT : 7ビット  
 8BIT : 8ビット  
 (⇒注1)

■ストップビットの設定

**2** **STOP BIT**  
 ストップビットを設定します。  
 STOP-1 : 1ビット  
 STOP-2 : 2ビット  
 (⇒注2)

■パリティビットの設定

**3** **PARITY**  
 パリティビットを設定します。  
 ODD : 奇数  
 EVEN : 偶数  
 NONE : なし  
 (⇒注3)

■ボーレートの設定

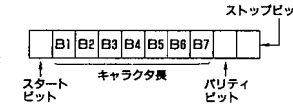
**4** **BAUD RATE**  
 ボーレート (データ信号速度) を設定します。  
 1200 : 1200ビット/秒  
 2400 : 2400ビット/秒  
 4800 : 4800ビット/秒  
 9600 : 9600ビット/秒  
 (⇒注4)

■RS-232Cについて

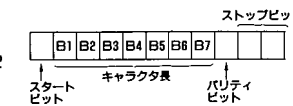
RS-232Cとは、EIA規格の2進直列データ相互交換方式を用いるデータ端未装置と、データ通信装置間のインターフェースの規格番号を示します。このRS-232Cインターフェースを用いて、本VTRをパソコンなどによって制御することができます。

■コード形式

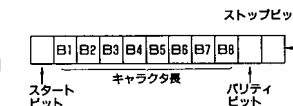
BIT LENGTH : 7BIT  
 STOP BIT : STOP-1  
 PARITY : EVEN



BIT LENGTH : 7BIT  
 STOP BIT : STOP-2  
 PARITY : ODD



BIT LENGTH : 8BIT  
 STOP BIT : STOP-1  
 PARITY : EVEN



BIT LENGTH : 8BIT  
 STOP BIT : STOP-2  
 PARITY : ODD

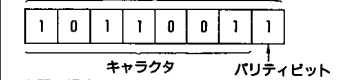


■ノート

(注1)  
 キャラクタ長 (データ長) とは  
 キャラクタデータを構成するビット数のことです。

(注2)  
 ストップビットとは  
 各キャラクタごとにデータの始まりを示すスタートビットとデータの終りを示すストップビットが付加されます。  
 そのうちスタートビットは、1ビットに固定ですが、ストップビットは1ビットまたは2ビットの選択ができます。

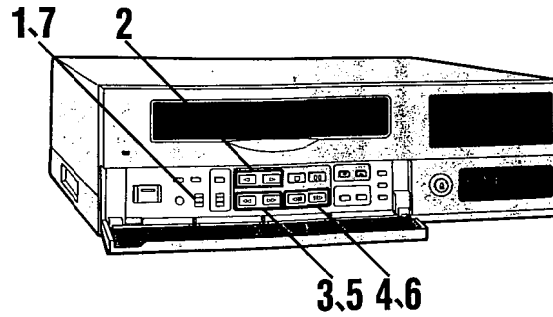
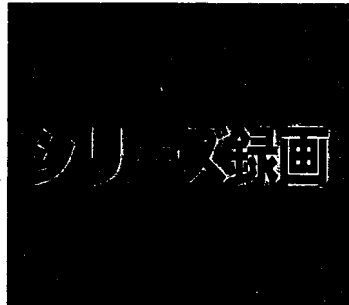
(注3)  
 パリティビットとは  
 伝送誤りをチェックするために付加するビットです。  
 データ送信時にパリティビットによって、キャラクタ内の "1" の数を偶数または奇数にし、受信側でそれをチェックします。  
 "1" の数が奇数



上記の場合  
 偶数パリティチェックのとき不合格  
 奇数パリティチェックのとき合格

(注4)  
 ボーレート (データ信号速度) とは  
 1秒間に送るデータ量のことです。  
 例えば、2400ビット/秒では、1秒間に2400ビットのデータを送ります。





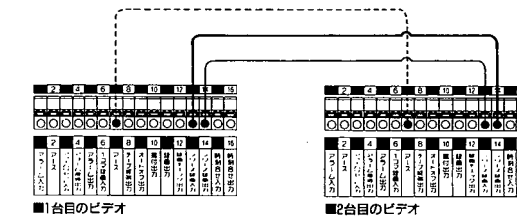
複数のタイムラプスビデオを使用して、連続的に録画を行う操作です。  
このページの説明は、シリーズ録画の代表的な設定例です。

<b>1</b>		↑	“メニュー”にする	<table border="1"> <tr><td>(DISPLAY)</td><td>T/D</td></tr> <tr><td>MODE</td><td>WHITE</td></tr> <tr><td>CHARACTER</td><td>L-UPPER</td></tr> <tr><td>POSITION</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>TIME SELECT</td><td>24HOURS</td></tr> <tr><td>DATE</td><td>ON</td></tr> <tr><td>T-MODE</td><td>ON</td></tr> <tr><td>(REC INDICATE)</td><td>ON</td></tr> <tr><td>NOT REC</td><td>CAMERA</td></tr> </table>	(DISPLAY)	T/D	MODE	WHITE	CHARACTER	L-UPPER	POSITION	STOP	TIME SELECT	24HOURS	DATE	ON	T-MODE	ON	(REC INDICATE)	ON	NOT REC	CAMERA
(DISPLAY)	T/D																					
MODE	WHITE																					
CHARACTER	L-UPPER																					
POSITION	STOP																					
TIME SELECT	24HOURS																					
DATE	ON																					
T-MODE	ON																					
(REC INDICATE)	ON																					
NOT REC	CAMERA																					
<b>2</b>		押し	メニュー画面2を表示させる	<table border="1"> <tr><td>(VTR MODE SELECT 1)</td><td>(HIGH DENSITY REC)</td></tr> <tr><td>MODE</td><td>REC T-MODE</td></tr> <tr><td>(REC T-MODE)</td><td>OFF</td></tr> <tr><td>(TAPE IN)</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>(TAPE END)</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>ALARM IN</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>(EJECT OPERATION)</td><td>EJECT</td></tr> <tr><td>MODE</td><td>(AC OUT LET) LINK</td></tr> </table>	(VTR MODE SELECT 1)	(HIGH DENSITY REC)	MODE	REC T-MODE	(REC T-MODE)	OFF	(TAPE IN)	STOP	(TAPE END)	STOP	ALARM IN	STOP	(EJECT OPERATION)	EJECT	MODE	(AC OUT LET) LINK		
(VTR MODE SELECT 1)	(HIGH DENSITY REC)																					
MODE	REC T-MODE																					
(REC T-MODE)	OFF																					
(TAPE IN)	STOP																					
(TAPE END)	STOP																					
ALARM IN	STOP																					
(EJECT OPERATION)	EJECT																					
MODE	(AC OUT LET) LINK																					
<b>3</b>		押し	“TAPE END MODE”を選択する	<table border="1"> <tr><td>(VTR MODE SELECT 1)</td><td>(HIGH DENSITY REC)</td></tr> <tr><td>MODE</td><td>REC T-MODE</td></tr> <tr><td>(REC T-MODE)</td><td>OFF</td></tr> <tr><td>(TAPE IN)</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>(TAPE END)</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>ALARM IN</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>(EJECT OPERATION)</td><td>EJECT</td></tr> <tr><td>MODE</td><td>(AC OUT LET) LINK</td></tr> </table>	(VTR MODE SELECT 1)	(HIGH DENSITY REC)	MODE	REC T-MODE	(REC T-MODE)	OFF	(TAPE IN)	STOP	(TAPE END)	STOP	ALARM IN	STOP	(EJECT OPERATION)	EJECT	MODE	(AC OUT LET) LINK		
(VTR MODE SELECT 1)	(HIGH DENSITY REC)																					
MODE	REC T-MODE																					
(REC T-MODE)	OFF																					
(TAPE IN)	STOP																					
(TAPE END)	STOP																					
ALARM IN	STOP																					
(EJECT OPERATION)	EJECT																					
MODE	(AC OUT LET) LINK																					
<b>4</b>		押し	“REW”にする (→注1)	<table border="1"> <tr><td>(VTR MODE SELECT 1)</td><td>(HIGH DENSITY REC)</td></tr> <tr><td>MODE</td><td>REC T-MODE</td></tr> <tr><td>(REC T-MODE)</td><td>OFF</td></tr> <tr><td>(TAPE IN)</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>(TAPE END)</td><td>REW</td></tr> <tr><td>ALARM IN</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>(EJECT OPERATION)</td><td>EJECT</td></tr> <tr><td>MODE</td><td>(AC OUT LET) LINK</td></tr> </table>	(VTR MODE SELECT 1)	(HIGH DENSITY REC)	MODE	REC T-MODE	(REC T-MODE)	OFF	(TAPE IN)	STOP	(TAPE END)	REW	ALARM IN	STOP	(EJECT OPERATION)	EJECT	MODE	(AC OUT LET) LINK		
(VTR MODE SELECT 1)	(HIGH DENSITY REC)																					
MODE	REC T-MODE																					
(REC T-MODE)	OFF																					
(TAPE IN)	STOP																					
(TAPE END)	REW																					
ALARM IN	STOP																					
(EJECT OPERATION)	EJECT																					
MODE	(AC OUT LET) LINK																					
<b>5</b>		押し	“TAPE END ALARM IN”を選択する	<table border="1"> <tr><td>(VTR MODE SELECT 1)</td><td>(HIGH DENSITY REC)</td></tr> <tr><td>MODE</td><td>REC T-MODE</td></tr> <tr><td>(REC T-MODE)</td><td>OFF</td></tr> <tr><td>(TAPE IN)</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>(TAPE END)</td><td>REW</td></tr> <tr><td>ALARM IN</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>(EJECT OPERATION)</td><td>EJECT</td></tr> <tr><td>MODE</td><td>(AC OUT LET) LINK</td></tr> </table>	(VTR MODE SELECT 1)	(HIGH DENSITY REC)	MODE	REC T-MODE	(REC T-MODE)	OFF	(TAPE IN)	STOP	(TAPE END)	REW	ALARM IN	STOP	(EJECT OPERATION)	EJECT	MODE	(AC OUT LET) LINK		
(VTR MODE SELECT 1)	(HIGH DENSITY REC)																					
MODE	REC T-MODE																					
(REC T-MODE)	OFF																					
(TAPE IN)	STOP																					
(TAPE END)	REW																					
ALARM IN	STOP																					
(EJECT OPERATION)	EJECT																					
MODE	(AC OUT LET) LINK																					

<b>6</b>		押し	“CONTINUE”にする (→注2)	<table border="1"> <tr><td>(VTR MODE SELECT 1)</td><td>(HIGH DENSITY REC)</td></tr> <tr><td>MODE</td><td>REC T-MODE</td></tr> <tr><td>(REC T-MODE)</td><td>OFF</td></tr> <tr><td>(TAPE IN)</td><td>STOP</td></tr> <tr><td>(TAPE END)</td><td>REW</td></tr> <tr><td>ALARM IN</td><td>CONTINUE</td></tr> <tr><td>(EJECT OPERATION)</td><td>EJECT</td></tr> <tr><td>MODE</td><td>(AC OUT LET) LINK</td></tr> </table>	(VTR MODE SELECT 1)	(HIGH DENSITY REC)	MODE	REC T-MODE	(REC T-MODE)	OFF	(TAPE IN)	STOP	(TAPE END)	REW	ALARM IN	CONTINUE	(EJECT OPERATION)	EJECT	MODE	(AC OUT LET) LINK
(VTR MODE SELECT 1)	(HIGH DENSITY REC)																			
MODE	REC T-MODE																			
(REC T-MODE)	OFF																			
(TAPE IN)	STOP																			
(TAPE END)	REW																			
ALARM IN	CONTINUE																			
(EJECT OPERATION)	EJECT																			
MODE	(AC OUT LET) LINK																			
<b>7</b>		押し	“切”にする	通常画面																

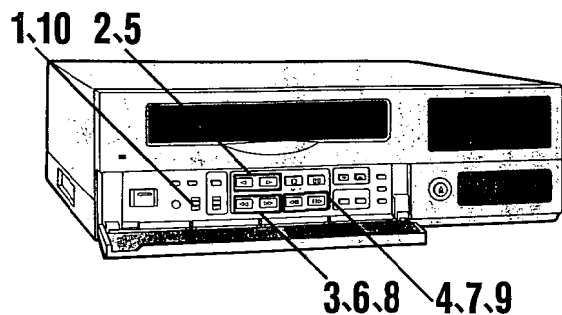
■2台以上でシリーズ録画する場合  
1台目がテープ終端を検知すると、2台目が録画を開始します。

■2台で交互録画する場合  
1台目がテープ終端を検知すると、2台目が録画を開始します。  
2台目がテープ終端を検知すると、再び1台目が録画を開始します。



ノート

- (注1)  
TAPE END-MODEの設定でテープを巻戻す必要のない場合は“STOP”に設定してください。
- (注2)  
TAPE END-ALARM INの設定でアラーム録画後、オートリワインド機能を解除したい場合は、“STOP”にしてください。
- (その他)
- 設定後は、1台目のビデオに通常の録画操作をしてください。
  - 2台目以降のビデオの電源は、“入”の状態にしておいてください。
  - 誤操作を防止するために、録画ロックスイッチを“1”または“2”に設定することをお勧めします。



データファイル、アニメーションなどの用途に1コマ録画の操作です。

<p><b>1</b></p>	<p>↑ プログラムの時間合せ “メニュー”にする</p>	<pre> ([DISPLAY]) MODE T/D CHARACTER WHITE POSITION L-UPPER TIME SELECT 24HOURS TAPE END ON TIME ON T-MODE ON ([REC INDICATE]) NOT REC CAMERA           </pre>	<p><b>6</b></p>	<p>押して “FIELD”を選択する</p>	<pre> ([1-SHOT REC]) FIELD INTERVAL 3MIN           </pre>
<p><b>2</b></p>	<p>押してメニュー画面2を表示させる</p>	<pre> ([VTR MODE SELECT 1]) (HIGH DENSITY REC) MODE (REC T-MODE) OFF (TAPE IN) STOP (TAPE END) STOP ALARM IN STOP (EJECT OPERATION) EJECT MODE (AC OUT LET) LINK           </pre>	<p><b>7</b></p>	<p>押して1コマ録画時間を設定する (→注2)</p>	<pre> ([1-SHOT REC]) FIELD INTERVAL 3 MIN           </pre>
<p><b>3</b></p>	<p>押して “REC T-MODE”を選択する</p>	<pre> ([VTR MODE SELECT 1]) (HIGH DENSITY REC) MODE (REC T-MODE) OFF (TAPE IN) STOP (TAPE END) STOP ALARM IN STOP (EJECT OPERATION) EJECT MODE (AC OUT LET) LINK           </pre>	<p><b>8</b></p>	<p>押して “INTERVAL”を選択する</p>	<pre> ([1-SHOT REC]) FIELD INTERVAL 3 MIN           </pre>
<p><b>4</b></p>	<p>押して “OFF”または “000H”にする (→注1)</p>	<pre> ([VTR MODE SELECT 1]) (HIGH DENSITY REC) MODE (REC T-MODE) 000H (TAPE IN) STOP (TAPE END) STOP ALARM IN STOP (EJECT OPERATION) EJECT MODE (AC OUT LET) LINK           </pre>	<p><b>9</b></p>	<p>押してインターバル時間を設定する (→注3)</p>	<pre> ([1-SHOT REC]) FIELD INTERVAL 3 MIN           </pre>
<p><b>5</b></p>	<p>押してメニュー画面5を表示させる</p>	<pre> ([1-SHOT REC]) FIELD INTERVAL 3MIN ([TAPE REMAIN]) BUZZER OFF ([REC REVIEW]) AUTO OFF ERR BUZZER OFF ([ERR WARN BUZZ])OFF           </pre>	<p><b>10</b></p>	<p>“切”にする</p>	<p>通常画面</p>

↓ (操作続く)

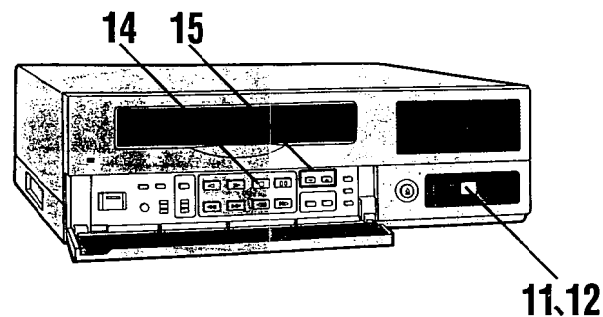
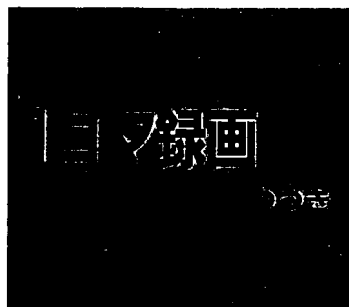
**ノート**


(注1) メニュー画面2の“REC T-MODE”が“OFF”になっている場合、前面サブパネル部の時間モードボタンを押しても、“000H”に設定します。REC T-MODEが“000H”になっていると録画時は、常に1コマ録画になります。

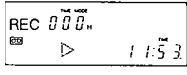
(注2) 1コマ録画時間は、セットボタンを押すごとに、1→2→3→4→5→10→15→20→30→40→50→60→1→2…と変わります。(単位はフィールドです。)


(注3) インターバル時間は、セットボタンを押すごとに、1→2→3→1…と変わります。(単位は分です。)

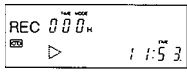





**11**  押すと  
数コマ録画し、  
録画待機中になる

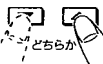


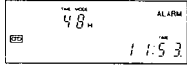
**12**  再度押すと  
1コマ録画して  
録画待機中になる



**13** ■以降録画ボタンを押すごとに、1コマ録画する  
■録画ボタンを押さない場合は、インターバル時間が経過すると自動的に、1コマ録画します。

**14**  停止する場合  
押す

**15**  時間を  
どちらか  
モードを解除する  
場合“000H”以外に  
する  
(→注1)



■リモートスイッチを使用して1コマ録画する場合

前面の録画ボタンを押して、1コマ録画する以外に、リモートスイッチを接続して、離れた場所で1コマ録画することができます。

- リモートスイッチについては、販売店にご相談ください。
- リモートスイッチの入時間は100ms以上必要です。
- リモートスイッチを入れる間隔は約1秒以上必要です。  
(信号レベルについては78ページを参照ください。)

ノート

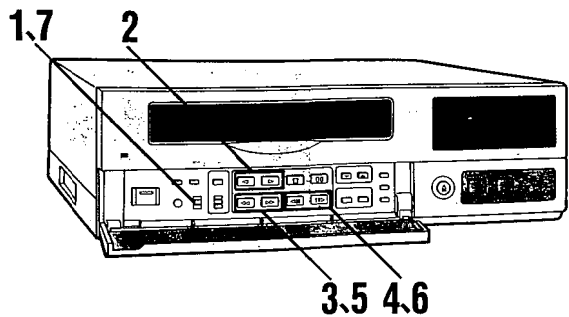
(注1)

メニュー画面2のREC T-MODEを“000H”に設定している場合は、メニュー画面2に移ってREC T-MODEを“000H”以外に設定します。

(その他)

1コマ録画で記録可能な時間については、53ページを参照ください。

# 自動時刻合わせ



外部スイッチなどにより本機の時刻を任意に設定した時刻に合わせるすることができます。  
また、本機をマスター機として他のタイムラプスの時刻を合わせることもできます。(パナソニックタイムラプスビデオで時刻合わせ入力ターミナルが装備されているものに限りです。)

- 1** プログラム 切 時刻合わせ

↑ “メニュー”にする

[(DISPLAY)]	T/D
MODE	WHITE
CHARACTER POSITION	L-UPPER
TIME SELECT	24HOURS
DATE	ON
TIME	ON
T-MODE	ON
([REC INDICATE])	
NOT REC	CAMERA
- 2** 再生 再生 どちらか

押して メニュー画面3を表示させる

[(VTR MODE SELECT 2)]	(POWER LOSS MEMORY)	## ##-##-## ##:##
(VIDEO)		
MODE	AUTO	
IN	LINE	
S-VHS REC	ON	
(TIME ADJUSTING)		
SET TIME	9:00	
OPERATION	SLAVE	
- 3** 時間し/時/分送り

押して “TIME ADJUST-SET TIME”を選択する

[(VTR MODE SELECT 2)]	(POWER LOSS MEMORY)	## ##-##-## ##:##
(VIDEO)		
MODE	AUTO	
IN	LINE	
S-VHS REC	ON	
(TIME ADJUSTING)		
SET TIME	9:00	
OPERATION	SLAVE	
- 4** 左コマ送り コマ送り どちらか

押して 合わせる時刻を設定する (→注1)

[(VTR MODE SELECT 2)]	(POWER LOSS MEMORY)	## ##-##-## ##:##
(VIDEO)		
MODE	AUTO	
IN	LINE	
S-VHS REC	ON	
(TIME ADJUSTING)		
SET TIME	11:00	
OPERATION	SLAVE	
- 5** 時間し/時/分送り

押して “TIME ADJUST-OPERATION”を選択する

[(VTR MODE SELECT 2)]	(POWER LOSS MEMORY)	## ##-##-## ##:##
(VIDEO)		
MODE	AUTO	
IN	LINE	
S-VHS REC	ON	
(TIME ADJUSTING)		
SET TIME	11:00	
OPERATION	SLAVE	

- 6** 左コマ送り コマ送り どちらか

押して 時刻合わせモードを選択する (→注2)

[(VTR MODE SELECT 2)]	(POWER LOSS MEMORY)	## ##-##-## ##:##
(VIDEO)		
MODE	AUTO	
IN	LINE	
S-VHS REC	ON	
(TIME ADJUSTING)		
SET TIME	11:00	
OPERATION	MASTER	
- 7** プログラム 切 時刻合わせ

↓ “切”にする

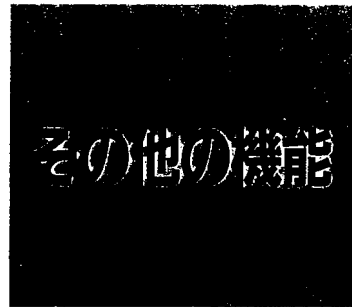
通常画面		
------	--	--

**ノート**

(注1)  
SET TIMEの「0:00」は「RESET」になります。この時、“OPERATION SLAVE”で、時刻合わせ入力信号で±15分の正時補正、“OPERATION MASTER”で、毎正時に時刻合わせ出力信号を出します。(77ページ参照)

(注2)  
■SLAVEを選択した場合  
後面ターミナル部の時刻合わせターミナルとアースを短絡させると、4で設定した時刻に本機の時計が合わせられます。  
また同時に時刻合わせ出力ターミナルからパルス(L)が出力されます。

■MASTERを選択した場合  
本機の時計が4で設定した時刻になると、時刻合わせ出力ターミナルからパルス(L)が出力されます。



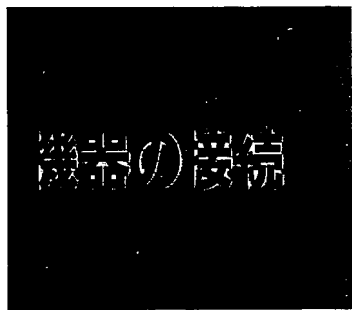
### 停電復帰録画

録画中に停電があった場合、1ヶ月以内に停電が復帰できれば、本機は自動的に録画モードになります。

- 停電直後、本機は、ビデオヘッド、テープを保護するため、テープ保護モードになります。
- 停電時の本機の状態によって、停電復帰後の状態は、録画モードによって以下のようになります。

状態 モード	録画	再生、停止 早送り、巻戻し	オートリピート録画時 のオートリワインド中
アラーム	録画	停止	テープ始端まで巻戻してから録画
内部タイマー	タイマー設定に従って録画		
外部タイマー	録画	録画	テープ始端まで巻戻してから録画

- 1ヶ月以上の停電の場合、停電復帰後、テープが挿入されていると強制的に72Hモードで録画が開始されます。



**RS-232C端子 (別売品)**

パーソナルコンピュータなどを接続して、本機を制御する場合に使用します。  
(⇒87ページ)

パーソナルコンピュータ

**リモコン (シリアル) 端子 (M3)**

別売のリモートコントローラAG-A67を接続する端子です。  
(⇒86ページ)

AG-A67 (別売)

**マイク入力端子 (M3)**

マイクからの音声入力信号を接続します。(600Ωインピーダンス)  
●M6端子のマイクを接続する場合は、別売品のコネクタ変換プラグRP-PA70A (オーディオ・ビデオ本部AVアクセサリ部扱い)をご使用ください。

マイク

**映像入力端子 (BNC)**

シーケンシャルスイッチャなどからの外部映像入力信号を接続します。  
●この端子を使用する場合は、メニュー画面3のVIDEO INを“LINE”に設定します。

**S映像入出力端子 (4P)**

S映像入力: S映像出力端子を持った機器と接続する場合に使用します。  
S映像出力: S映像入力端子を持った機器と接続する場合に使用します。  
●これらの端子を使用する場合は、メニュー画面3のVIDEO INを“S-VIDEO”に設定します。

**映像出力端子 (BNC)**

映像信号を出力します。  
●モニタテレビによっては、ノイズが発生する場合があります。

モニタテレビ

**電源出力端子**

AC100V最大250Wの電源を供給します。  
●本機の電源スイッチと連動させるか、非連動にするかをメニュー画面2で選択できます。  
(⇒47ページ)

**電源入力端子**

付属の電源コードを接続し、家庭用AC100V電源コンセントと接続します。

**音声入出力端子 (ピンジャック)**

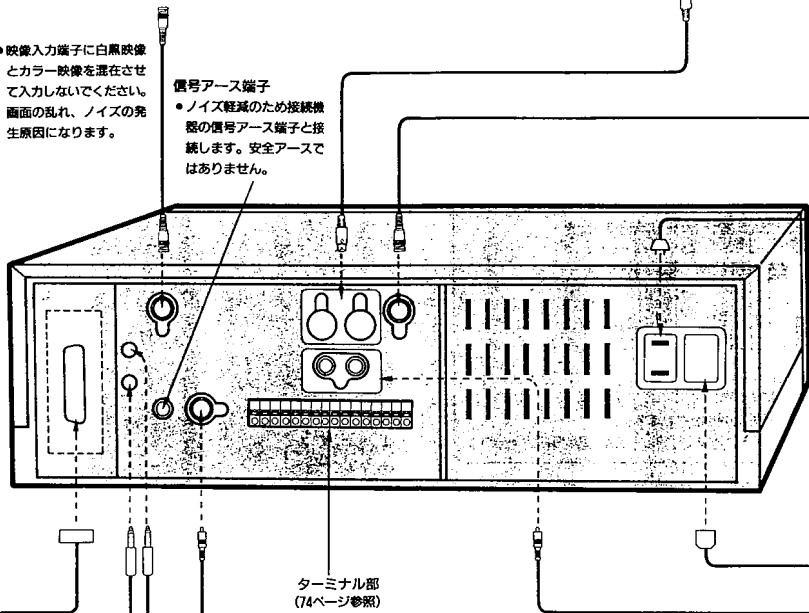
音声を入出力する端子です。  
●音声入力端子とマイク端子を同時に使用した場合は、マイク端子の音声優先的に記録されます。

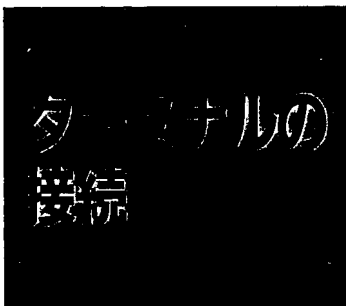
オーディオ機器

**カメラ切り換え出力端子**

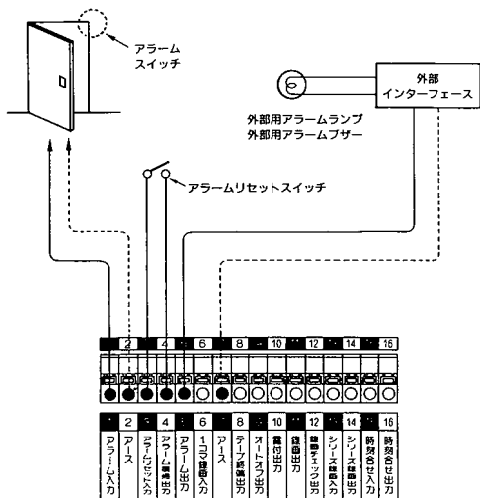
シーケンシャルスイッチャなどのカメラ切り換えタイミングを変える信号を出力します。  
WJ-FS10A  
WJ-FS20  
WJ-FS50

シーケンシャルスイッチャなど





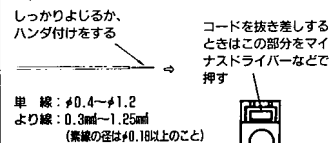
### アラーム録画の接続



- メニュー画面4でアラーム録画の設定がされている場合、アラームスイッチが入になると、アラーム録画が開始されます。
- アラームリセットスイッチが入になると、アラーム録画が解除されます。

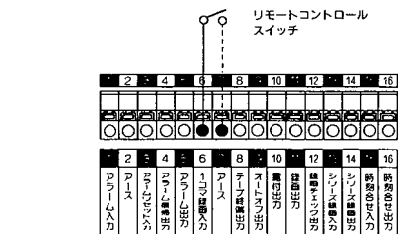
### コードの接続について

ターミナル部へ接続するコードは、下図のように先端部分をしっかりとよじておいてください。



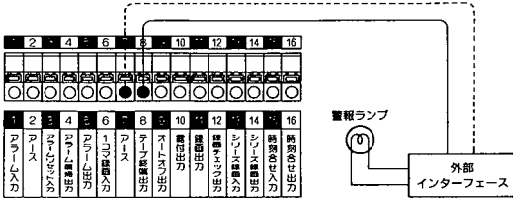
- 先がしっかりよじていないと、ショートの原因になります。

### 1コマ録画の接続



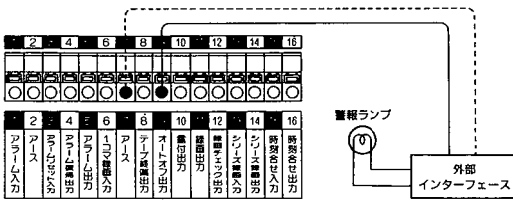
- 1コマ録画モードの準備ができているときに、リモートスイッチが入になると、1コマ録画されます。
- リモートスイッチの入時間は、100ms以上必要です。
- リモートスイッチの入の間隔は、1秒以上必要です。

### テープ終端出力の接続



録画中に、カセットテープが終端になると、外部に設けた警告装置を起動させます。

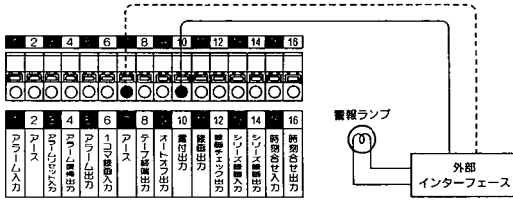
### オートオフ出力の接続



本機に異常が生じたとき、外部に設けた警告装置を起動させます。

この場合、ディスプレイにエラーコードが表示されます。(⇒81ページ)

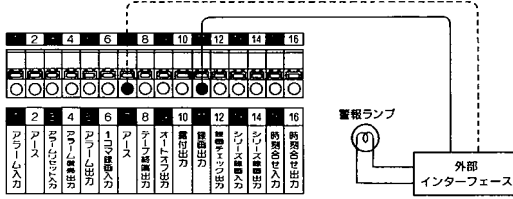
### 露付出力の接続



本機内部に露付きが発生すると外部に設けた警告装置を起動させます。

この場合、ディスプレイに"e"が表示されます。(⇒80ページ)

### 録画出力の接続



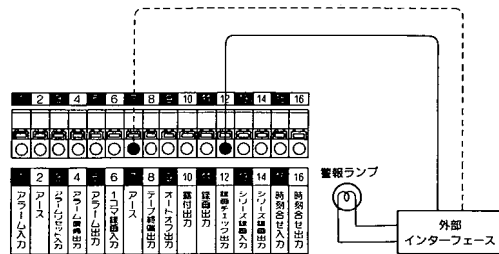
本機が、録画状態になると、外部に設けた警告装置を起動させます。



# ターミナルの接続

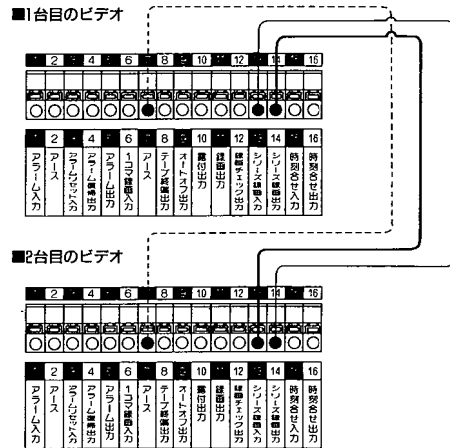
つづき

## 録画チェックの接続



- 録画チェック動作後、ヘッド汚れ、テープ劣化により適正なビデオレベルが得られなかった場合に、外部装置を作動させます。同時に表示管のカセットマーク (C) が点滅します。(→31ページ)

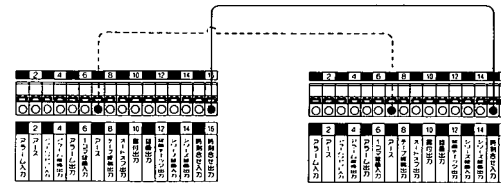
## シリーズ録画の接続



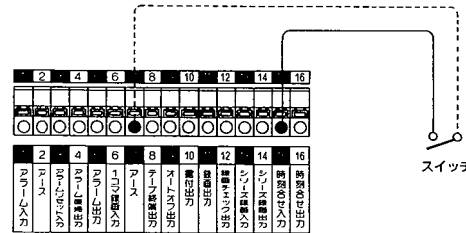
- 1台目がテープ終端になると、2台目の録画が開始されます。
- 2台目がテープ終端になると、再び1台目の録画が開始されます。
- 2台目以上接続する場合は、2台目のシリーズ録画出力は3台目のシリーズ録画入力に接続します。

## 時刻合わせの接続

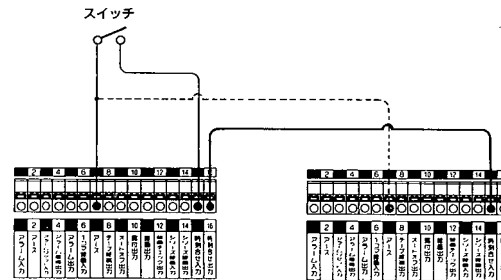
### ■本機により他のタイムラプスビデオの時刻を合わせる場合



### ■外部スイッチにより本機の時刻を合わせる場合



### ■外部スイッチにより複数のタイムラプスビデオの時刻を合わせる場合



- 本機に接続する他のタイムラプスビデオは、当社のタイムラプスビデオで時刻合わせターミナルを装備している機種に限りです。  
(本機は、時刻を任意に設定することができますが、AG-6750/6750Aは、AM9:00に固定されていますのでご注意ください。)

- 本機のメニュー画面3の“TIME ADJUST OPERATION”を“MASTER”に設定します。

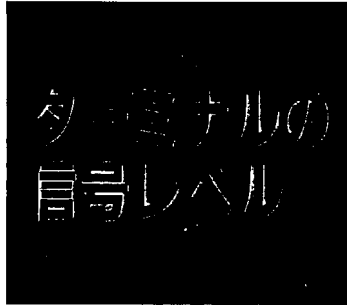
- 本機の時刻がメニュー画面3の“TIME ADJUSTING SET TIME”で設定した時刻になると、時刻合わせ出力ターミナルからパルスが出力され、本機に接続されている他のビデオの時刻を合わせます。

- 本機のメニュー画面3の“TIME ADJUST OPERATION”を“SLAVE”に設定します。
- 外部スイッチを“入”にすると、メニュー画面3の“TIME ADJUSTING SET TIME”で設定した時刻になります。

- 本機のメニュー画面3の“TIME ADJUSTING OPERATION”の“SET TIME”をRESETを選びますと±15分の範囲内は00分00秒にリセットされます。

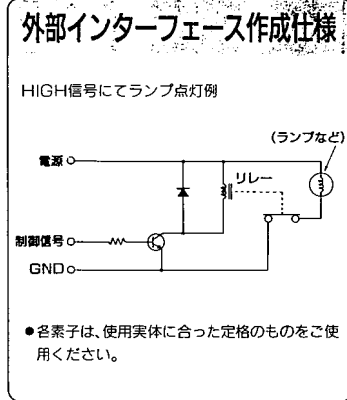
- 本機のメニュー画面3の“TIME ADJUST OPERATION”を“SLAVE”に設定します。

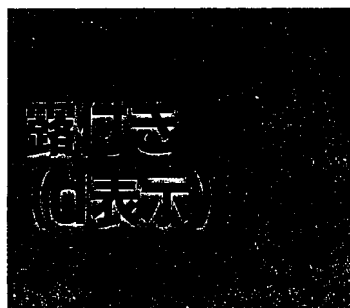
- 外部スイッチによって、アースと時刻合わせ入力端子を短絡させると、本機の時刻がメニュー画面3の“TIME ADJUST SET TIME”で設定した時刻になり、同時に時刻合わせ出力ターミナルからパルスが出力され、本機に接続されている他のビデオの時刻を合わせます。



ターミナル名	電圧レベル	備考	
アラーム 入力	 V IH V IL T	V IL = 0 ~ 0.6V T ≥ 100mS	接地入力
アラーム リセット入力	 V IH (H) V IL (L) T	V IH = 4 ~ 5V V IL = 0 ~ 0.6V T ≥ 100mS	HIGH/LOW (H)と(L)はメニュー画面4で選択可能(⇒47ページ)
アラーム 復帰出力	 V OH V OL T アラーム	V OH = 5 ± 0.5V (200°C) V OL = 0 ~ 0.6V (Max. 3mA)	HIGH出力
アラーム出力		V OH = 11 ~ 13V (4700°C) V OL = 0 ~ 0.6V (Max. 3mA)	HIGH出力
1コマ録画 入力	 V IL T	V IL = 0 ~ 0.6V T ≥ 100mS	接地入力
テープ終端 出力	 V OH V OL T オートリビートOFF アラーム解除IN	V OH = 11 ~ 13V (4700°C) V OL = 0 ~ 0.6V (Max. 3mA) T = 約2s	接地出力
オートオフ 出力	 V OH V OL T	V OH = 11 ~ 13V (4700°C) V OL = 0 ~ 0.6V (Max. 3mA)	接地出力
露付出力	 V OH V OL T	V OH = 4 ~ 5.5V (10KΩ) V OL = 0 ~ 0.6V (Max. 3mA)	接地出力
録画出力	 V OH V OL T REC	V OH = 11 ~ 13V (4700°C) V OL = 0 ~ 0.6V (Max. 3mA)	HIGH出力
録画チェック 出力	 V OH V OL T OK NG	V OH = 11 ~ 13V (4700°C) V OL = 0 ~ 0.6V (Max. 3mA) リセット時はOK	接地出力
シリーズ録画 入力	 V IH V IL T	V IL = 0 ~ 0.6V T ≥ 100mS	接地入力
シリーズ録画 出力	 V OL T OPEN	V OL = 0 ~ 0.6V T ≈ 約70mS	接地出力
時刻合わせ 入力	 V IH V IL T	V IL = 0 ~ 0.6V T ≥ 100mS	接地入力
時刻合わせ 出力	 V OL T OPEN	V OL = 0 ~ 0.6V T = 約1s	接地出力

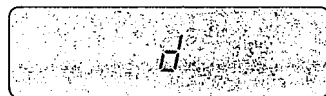
1-34





■本機内部に露付きが発生すると表示管に“d”マークが表示されます。

そのまま数時間、“d”マークが消えるまでお待ちください。



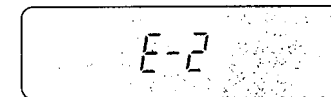
\* dは英語のdew（露）の略です。



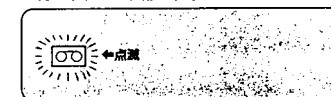
■本機に異常が発生すると、表示管にエラー表示を行います。

下記の指示に従って、対処してください。

■エラーコード表示



■カセットマーク点滅表示



露付きとは、冬季に暖房した部屋のガラスに水滴が付くような現象をいいます。

■露付きが起きた場合

- 表示管に“d”が表示されます。
- “d”表示が消えるまでは、操作を行うことはできません。そのままお待ちください。（イジェクトは可能）
- 電源が“切”の状態でも露付きが起こると、自動的に電源が入り、“d”マークが表示されます。
- カセットが入っている場合、中間イジェクト状態になります。
- カセットが入っていない場合は、“d”が消えるまではカセットを挿入することはできません。

■露付きが解除されると

- 通常操作が可能になります。
- カセットが入っていた場合は、停止状態になります。
- 録画中に、露付きが発生した場合、露付き解除後に再び録画状態に戻ります。

■露付きは進行中にもご注意

普通、露付きは徐々に進行しますので露付きが始まって10～15分間くらいは“d”マークが点滅しないことがあります。特に部屋の温度や湿度が変わったときには、20分位たってからご使用ください。

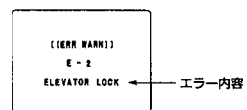
■露付きが発生しやすい条件は

- 本機やカセットを温度や湿度差の大きいところに移動したとき
- 湿度の高いところ
- 冷房されているところから急に温度や湿度の高いところに移動したとき
- 暖房した直後の部屋

本機に異常が発生すると、表示管にエラー表示がでます。

表示管にエラー表示を行うことで、本機の異常状態を知らせます。

■メニュー画面5のERR WARN BUZがONの時は、モニタテレビにはエラーの内容も表示されます。



←エラー内容

■エラーコードが表示されると

- すべての動作が停止します。
- 下記の対処を行っても、エラーが解除されない場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから外し、直ぐに販売店にご連絡ください。

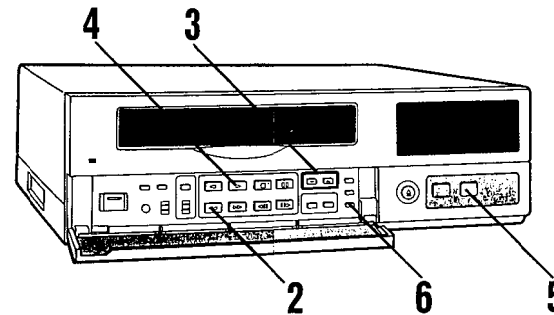
エラーコード表

エラーコード	内 容	対 処
E-2	エレベータ部分の異常	ビデオカセットが正しく挿入されていないと、これらのエラーが発生する場合があります。
E-3	ローディング部分の異常	再度電源を入れ直してみてください。
E-4	シリンダ部分の異常	ビデオカセットの状態が悪いと、これらのエラーが発生する場合があります。再度電源を入れ直して、ビデオカセットを交換してみてください。
E-5	リール部分の異常	
E-6	テープテンション異常	再度電源を入れ直してください。
E-7	リールソレノイド異常	再度電源を入れ直してください。
E-8	オーディオ記録回路の異常	再度電源を入れ直してください。

■カセットマークが点滅すると

<p>点滅</p>	<p>記録チェック操作を行った後、ヘッド汚れやテープ劣化により、適正なビデオレベルが得られなかった場合、表示管のカセットマーク ( ) が点滅します。操作は継続できますが、必ずヘッドクリーニングまたはカセットテープの交換を行ってください。</p>
-----------	---






本機は、長時間の使用に耐えるように設計されていますが、日常点検、定期点検は必ず行ってください。

■日常点検


- 1** 各機器の電源を入れる

  - ・モニタテレビに正しい映像が出ていますか？
  - ・日付・時刻は合っていますか？


---

- 2**  前日に記録したカセットを少し巻き戻す

---


- 3**  押して、時間モードを“2H”にする

---

- 4**  再生して、映像を確認する

  - ・再生画が正常ですか？
  - ・記録した日付・時刻は合っていますか？

---


- 5**  2時間モードで録画をしてみる

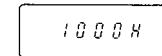
  - ・録画した内容を再生して、異常はないですか？

■定期点検

- 定期点検は、販売店で行う点検です。
- 定期点検を受ける目安として、本機には、総使用時間（シリンダーの総回転時間）を表示する機能（アワーメータ機能）があります。
- 総使用時間の値によって、本機内部の部品交換、清掃が必要です。
- 使用時間ボタンは本機のモード、録画ロックスイッチの設定にかかわらず、常に操作可能です。
- 詳しいことは販売店にご相談ください。

**6**

 押す  
表示管に総使用時間が表示されます。



ノート

- 日常点検後、異常があった場合、「こんなときは (Q&A)」86ページを参照して、原因の解決を試みてください。
- それでも、異常状態が解決されない場合は、電源を切り、電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、販売店にご相談ください。
- 特にオートリピート録画の場合、日常点検は怠らずに行ってください。

# 取り扱い上のお願い

故障の原因になりますので、必ず守ってください。

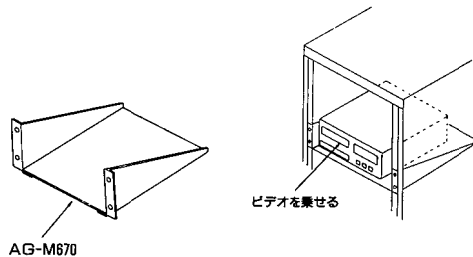
- 殺虫剤や揮発性のものをかけない/変色や塗装がはげる場合があります。
- 本機の汚れは柔らかい布で拭き取ります。
- 中性洗剤を薄めたもので汚れを取ります。その後必ず乾拭きしてください。
- 本機の清掃にベンジン、シンナーを使用しないでください。
- 変色や塗装がはげる場合があります。
- 長時間ご使用になると、天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 長時間ご使用にならないときは、機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用ください。



本機の機能をより良く、ご使用いただくために、いろいろなオプション（別売品）をご用意しております。

### ラックマウントアダプタAG-M670

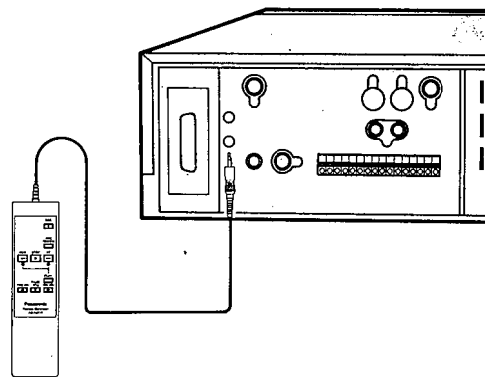
ラックマウントアダプタAG-M670を使用すれば、本機を19インチ標準ラックにマウントすることができます。



### リモートコントローラAG-A67

本機後面のリモコン入力端子に別売のリモートコントローラAG-A67を接続しますと、本機の操作ボタンに代わって離れたところから動作させることができます。

- リモートコントローラAG-A67で操作できるのは以下の機能です。  
録画 (REC)、録画チェック (REC REVIEW)、巻戻し (REW)、早送り (FF)、再生 (PLAY)、一時停止/静止 (PAUSE/STILL)、コマ逆送り (REV ADV)、コマ送り (FWD ADV)
- リモコン入力端子には、ヘッドホンなどを差し込まないでください。



### RS-232C インターフェースアダプタAG-IA671

本機にRS-232Cインターフェースボードアダプタを装着すると、以下の機能が追加されます。

#### RS-232C 通信機能

パーソナルコンピュータなどを使用して、本機を制御することが可能になります。  
メニュー画面7 (RS-232Cパラメータ設定) が追加されます。

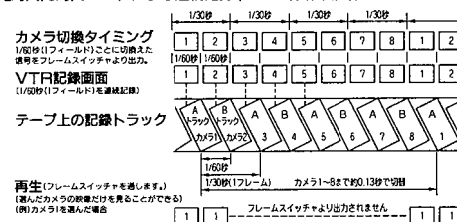
#### VITCタイムコード記録/再生機能

テープ上にタイムコード信号を記録することができます。テープの絶対位置を知ることができ、検索などに便利です。  
メニュー画面8 (タイムコードの設定) が追加になります。

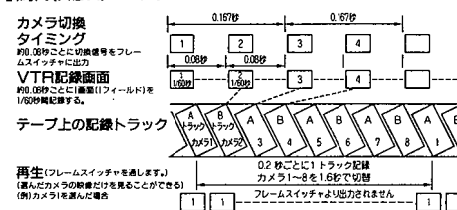
### フレームスイッチャWJ-FS20 (松下通信工業AVシステム事業部扱い)



#### ●2時間/6時間モードによる連続記録 (カメラ8台使用時)



#### ●24時間 (HDR) モード (カメラ8台使用時)



8台のカメラ映像をフィールドごとに切り換えて記録し、再生時には選んだカメラの映像だけを取り出して連続再生できます。

- 連続記録ならば、カメラ1台あたり1/60秒で切り換え、8台をわずかに約0.13秒の間に切り換えて記録しますから切り換えの死角が生じません。  
再生時は、フレームスイッチャを通して、同一カメラの映像だけを出力できます。

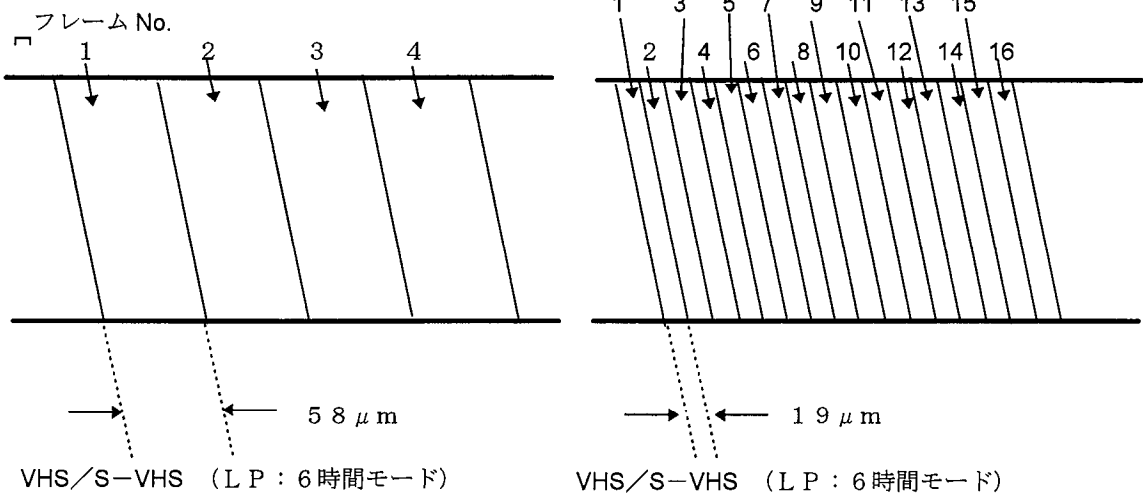
- 間欠 (タイムラプス) 記録でも、使用可能です。
- 例えば24時間モードの場合、約0.08秒間隔で間欠記録を行い、約0.08秒間隔でカメラを切り換えます。
- フレームスイッチャWJ-FS20をご使用になる場合は、メニュー画面4のカメラ切り換えタイミングモードを“TM2”に設定してください。(→51ページ)
- フレームスイッチャWJ-FS10Aの場合は、本機の時間モードがL12、L18、L24およびHDRモードでは使用できません。
- フレームスイッチャを使用するときは、VITCタイムコードを記録しないでください。再生時に誤動作を起こします。

## 高密度記録 / HDR (High Density Recording) について

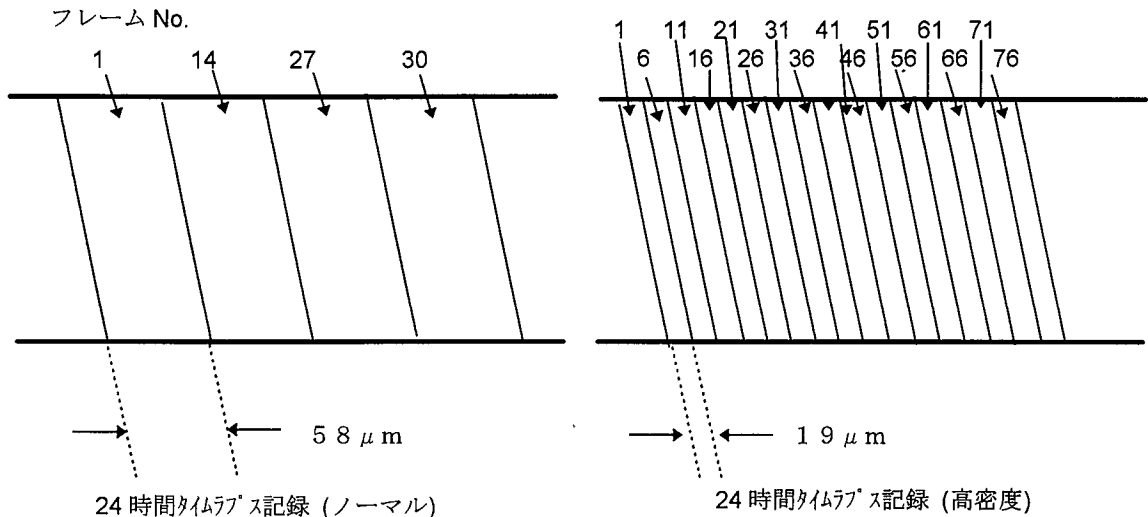
AG-6740 の新機能として高密度記録機能を採用し、長時間タイムラプス記録に於いても従来のモデルに比べほぼ3倍のフィールド数で記録再生するため、より自然な動きの再生画が得られます。

ノーマルタイムラプス記録と高密度記録との違いは、下図の如くノーマルタイムラプス記録モード時には、通常VHSで言われているSPモード基本(2時間記録)で58 $\mu$ mのビデオトラック幅で間欠記録を行います。それに対し高密度記録モードは、LPモード基本(6時間記録)で19 $\mu$ mのビデオトラック幅で間欠記録を行う事により、テープ長が同じであっても約3倍のトラック/フィールド数を記録出来ます。尚、高密度記録モードの再生画質については、解像度、S/Nその他の面に於いてVHS/S-VHSのSP/LPと同等の差を生じ、高密度記録と称するもののフィールド/フレーム単位での画質は、低下します。

### VHS/S-VHS記録時のフィールドとトラックとの関係 (LP/SP)



### 24時間タイムラプス記録時(例)のフィールドとトラックとの関係 (ノーマル/高密度)



注：それぞれの時間モードにより必ず3倍ではない。

AG-6740 の高密度記録モードで記録されたテープは、AG-6720 / 6730 / 6750 / 6760 のタイムラプス再生モード (6時間再生以外) での再生はできません。